

明治大学

政治経済学部

School of Political Science and Economics



社会を動かす思考力

METJI

UNIVERSITY 2027

明日

互いを尊重し、 ともに歩める社会を「実現したい」

アメリカ文化研究ゼミで、差別や格差を生む社会構造を学んでいます。ゼミで見た、沖縄市の中心市街地であるコザのドキュメンタリーをきっかけに、多様な文化や人が交わる中で生まれる衝突に関心を持ち、「沖縄のコザ暴動」を卒業論文のテーマに選択。現地のイベントにボランティアとして参加し、痛ましい歴史を抱えながらも活気にあふれた街の姿に感銘を受けました。資料館を巡り、当時を知る人々から話を聞く中で、そこに生きる人々に直接向き合う大切さを実感。グローバル化が進む今、互いを尊重し合う社会の実現が重要だと感じています。将来は、ビジネスを通じて国や文化を越え、対立を融合へと導ける存在を目指します。

政治学科3年
小林 明日美さん 静岡県立浜松西高等学校卒業

分断のない明日を目指して

1

社会の様々な状況を把握・分析する政治学科

多面的な分析力を養い、国際感覚を磨く。理論と歴史から政治の本質を突き止め、社会を生き抜く判断力の会得を目指す。



3

多様な地域で生じる社会的課題の解決に挑む政策学科

最新の理論とデータで課題の本質に挑む。多角的な視点と確かな論理で、より良い未来を構想し実践する。



2

総合的視点から経済学を学ぶ経済学科

経世済民の精神で社会の病を治す。経済・政治・文化を多面的に学び、地球規模の課題を解決する人材を育む。



4

世界で通用する力をつけるグローバル教育

世界トップレベルの大学への留学で国際感覚を研鑽。多様な文化に触れ、世界で活躍するグローバル人材へ。



5

現場の生の問題に挑むゼミ教育

少人数ゼミで専門性を磨き、仲間と論文を執筆。理論と実務の両面から地域課題を解決するプロを目指す。



CONTENTS

学部コンセプト.....	01	④ ACEプログラム.....	15	PICK UP ゼミナール.....	26
特集 ～政策学科教員が注目する世界・日本の政策～.....	03	⑤ GCDプログラム.....	17	学生サポート.....	27
政治経済学部の概要.....	05	学科紹介		キャリア.....	29
政治経済学部の特色		政治学科.....	19	卒業生からのメッセージ.....	33
① 教養演習ゼミナール.....	09	経済学科.....	21	学生生活.....	36
② ゼミナール教育.....	11	政策学科.....	23	入試情報.....	37
③ グローバル教育.....	13	教員紹介.....	25		

※登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2025年度のもので、2025年以前撮影の写真も掲載しています。

● 日本・世界各国

コンパクトシティ政策

街を無秩序に拡大せず、街なかに住宅・商業・業務などの機能を集積して利便性を向上させ、郊外は公共交通等でネットワーク化することで、都市の持続可能性を目指す都市政策。例えば宇都宮市では、LRT整備などの交通政策と沿線に居住誘導を図る都市計画で密に連携し、街の活性化に寄与しています。



野澤 千絵 教授

担当科目：都市政策
研究テーマ：人口減少時代における都市・地方の再構築に関する研究

人口が減っても、誰もが心豊かに暮らせる都市や地域に再構築する政策をともに悩み、研究しましょう。

● 日本(東京都杉並区など)

自治体スクラム支援

東日本大震災に際し、被災した南相馬市を杉並区が支援し、さらに、杉並区と防災協定を結んだ自治体が連携して支援に加わりました。自治体間の自主的な取り組みとして広域的な連携によって被災地を支援しようとしたものであり、その後の災害対応にも重要な示唆を与えました。

長いようで短い4年間、充実した日々を。

● 日本・世界各国

新型コロナ感染症対策

100点満点の解決策がない、「正解」が一切用意されていないなかで各国の政府と自治体は手探りの対応を求められました。まさにこれからも「政策的思考」が求められる所以です。

問題を座視することなく、政策課題の要因分析、解決策の企画立案につながる学びを。



西村 弥 教授

担当科目：行政学基礎、行政理論基礎
研究テーマ：危機管理行政、公民連携(民営化、民間委託)

政策学科教員が注目する

● アメリカ

政策形成基盤法の成立

政策を立案する際、客観的にその政策に効果があるかどうかを判断することが重要になります。効果的な政策形成を目指す、政府のプログラムや政策を評価する際に有用となりうる「証拠(エビデンス)」を構築するためのデータの可用性が大きく拡大されました。

大学4年間、ぜひ、ありとあらゆるものを学び吸収してください。

宮崎 イキサン 専任講師

担当科目：国際経済学
研究テーマ：国際貿易における資金決済・貿易金融・政策分析



● アメリカ

トランプ大統領の関税政策

2025年、トランプ大統領は鉄鋼や自動車などの輸入品に追加関税を課しました。米国の国内産業の保護や貿易赤字の削減を目的としています。関税は米国経済が抱える問題に対処するための最善の策でないばかりか、日本経済や世界経済に悪影響を与えることとなります。



藤永 修一 教授

担当科目：国際経済政策
研究テーマ：グローバル化の行方/米中貿易摩擦

私たちと一緒に政策学科を素晴らしい学科に創り上げていきましょう。

● イギリス

サッチャリズム

1960~70年代に「英国病」と呼ばれるほど経済の停滞が長く続いたイギリスで、当時の首相であるサッチャーは規制緩和などの自由主義的な改革を大胆に実施しました。賛否両論はあるものの、イギリス経済に活力を取り戻したと言えます。

自由な時間をたくさん持てる最後の4年間です。思う存分何かに打ち込んでください。



牛山 久仁彦 教授

担当科目:自治体経営論
研究テーマ:地方分権改革に伴う自治体行政改革の課題と展望

● 日本 (茨城県日立市)

地方自治体による 中小企業振興計画を通じた 活力のある産業のまちづくり

茨城県日立市では5カ年計画の商工振興計画を策定し、現在、第3次計画の具体的施策を展開中です。地域の中小企業による「変化に対応する力、引き継ぐ力、集積の力、発信する力」を引き出す政策を、企業、支援機関、役所の連携で成果を上げています。



森下 正 教授

担当科目:中小企業論
研究テーマ:中小企業の持続的発展に資する経営戦略と連携活動に関する研究

地域及び
一国の経済の発展を担う
中小企業の持続的発展を
実現する産業政策を学ぼう。

● 日本

アベノミクス

2012年末に発足した第二次安倍政権は、大胆な金融緩和を中心とした経済再生策を推し進めました。政権発足前には8000円台だった日経平均株価は1年後には16000円台に到達します。政策レジーム(方針・思想)の変化が経済に大きな変化をもたらすことを示し、その評価に関してもなお経済学の大きなテーマとなっています。



飯田 泰之 教授

担当科目:現代日本経済論
研究テーマ:マクロ経済学/経済政策

様々な種類の
「エビデンスとは何か」を
つかんでください。

世界・日本の政策

世界には様々な問題や困りごとがあり、各国・各自治体が知恵を絞って課題解決に取り組んでいます。そんな世界の政策の中で、政策学科の教員が特に注目したものを紹介します。

● 日本

日本銀行による 「非伝統的金融政策」

バブル破裂後に生じたデフレから脱却するため、日本銀行は過去に例のないゼロ金利政策、量的緩和政策、マイナス金利政策、イールドカーブ・コントロールなどの革新的手法を導入しました。これらは、世界金融危機時の他国の政策にも大きな影響を与えました。

皆さんと一緒に「現実の問題」とその「解決策」を学べることを
楽しみにしています!

齋藤 雅己 専任講師

担当科目:経済政策、
経済政策原理、数量経済分析
研究テーマ:グローバル経済における政策形成/経済成長理論と経済成長政策



● 日本

働き方改革

長時間労働の見直しなどによる柔軟な働き方や雇用形態に関わらない公正な待遇の確保(正規・非正規の格差の解消など)を目指した一連の政策。目的を達成するにはまだ十分とは言えませんが、これまでの働き方を見直した画期的な政策です。

大学はゴールではなく学びの
スタートです。継続して学ぶことが
人生を豊かにしてくれます。



加藤 久和 教授

担当科目:社会保障論
研究テーマ:社会保障・人口問題に関する
計量分析やマクロ計量経済学

● 日本 (島根県海士町)

官民一体の 「自立・挑戦・ 交流」政策

人口減少・財政危機にあった島根県の離島のまちで、役場と住民が一体となって改革に取り組みました。地域資源(岩ガキ、隠岐牛)を活かした特産品開発やブランド化、地元高校の魅力化(地域留学)にも取り組み、まちは活気を取り戻しました。

政策とは「世の中を
動かすスキル」です。
政策を学んで、
よりよい社会の実現に
貢献していきましょう。



奥山 雅之 教授

担当科目:地域産業論
研究テーマ:地域産業集積の発展・維持・衰退
/地域産業のグローバル化に関する実証研究



柴田 有祐 専任講師

担当科目:現代経済政策
研究テーマ:貿易と経済成長、
経済政策の効果の推計

「政治」「経済」「政策」をあわせて学ぶことで 様々な視点から理解を深める

▶ 政治経済学部の教育の特色

政治も、経済も、政策も。境界を越えて、社会を読み解く。

明治大学政治経済学部は「政治」「経済」「政策」の3学科に分かれています。学科ごとの履修制限は、ほとんどありません。関連性の高い「政治」「経済」「政策」をあわせて学ぶことで、一つの事象について、歴史・理論・政策面などの様々な視点で考え、理解を深めていくことができます。

*学科は受験時に選択し、1年次～4年次まで所属することになります。

政治学科

人間とそれが構成する社会を対象とした総合科学

Department of
Political Science

入学定員:290名
取得できる学位:学士(政治学)

政治学の主要な研究テーマは「政治」ですが、それはいきなり政治の“実践”を学ぶことではありません。政治学は人間とそれが構成する社会を対象とした総合科学です。明治大学の政治学科では、事実と理論に基づいて、政治現象を分析し、その構造や成立過程を解明する力、さらに、社会の仕組みを読み解き、自分がどう行動するかを判断する力を養います。カリキュラムには政治学を中心に隣接する多彩な分野の講義を設けているため、社会や人間の行動を多面的に理解する能力を高めていくことができます。

経済学科

社会全体が幸せになる方策を考える

Department of
Economics

入学定員:630名
取得できる学位:学士(経済学)

経済学は、資源を活用し、製品やサービスをつくり出して、得られた富を公平に分配することを考える学問です。日本が直面している少子高齢化の問題のひとつに、労働力の減少によって世代間で富の再配分がうまく働かなくなる点が挙げられます。経済問題は争いを生み、それが国家間では、戦争の要因にもなり得ます。経済学はそうした問題を克服するためにも大きな意味を持っています。より多くの人が幸せに、快適に生きることができる社会はどのようなものなのかを追究することが、今、経済学を学ぶ人には求められています。

政策学科

地域の最前線に立つプロフェッショナルを養成する

Department of
Policy Studies

入学定員:200名
取得できる学位:学士(政策学)

政策学科は、民間企業や公的機関で活躍する課題解決のプロフェッショナルの養成を目的とした学科です。グローバル化下における国内外の地域は、「地方」「都市」「国」「世界」など多様な意味と多くの可能性を持ちます。その反面、自然的、人的、社会のおよび文化的な資源をめぐる諸問題を抱えています。そこで、政治学・社会学・経済学をはじめとした学際的な知識とデータ分析力・語学力を総動員し、諸課題の解決および社会を豊かにするための政策のあり方を構想し、企画・立案、実践能力の修得を目指します。

明治大学政治経済学部の強み

主体性を育て、視野を世界へ広げる

Point 1 アクティブラーニング 1年次からゼミナールで少人数教育を受け、主体的に学ぶ意欲を高める

▶詳細はP09~12

1・2年次は、文化・社会・言語などの教養を深めることを目的とした「教養演習」、3・4年次は、政治学・社会学・経済学・政策学・国際地域文化論など多彩な分野において、より高度な学習・研究を行う「専門演習」のゼミナールが設置されています。

ゼミナールでは、履修者同士の距離も近く、お互い切磋琢磨しながら自らの研究に取り組むことができ、担当教員から自身の研究テーマに沿った指導を受けながら、学びを深めていくことができます。

Point 2 充実したオムニバス授業 各業界のトップランナーの授業が受けられる「応用総合講座」

「応用総合講座」は、将来リーダーとして活躍できる人材を育成するために設置された授業で、各業界の最先端にいる人々から直接指導を受けることができます。

2025年度開講テーマ例

ジェンダー／セクシュアリティ

講師：本学教員および外部講師

本講義では、学内外のジェンダー／セクシュアリティの専門家を招き、マンガ、女性性・男性性、軍隊、性暴力、ヒジラ、先住民、トランスジェンダー、クィア、エイズ、ズーフィリアなど多岐にわたるテーマで講義を行います。時空間も、近代から現代、ヨーロッパ・アメリカ・アジアと広範囲にわたります。ジェンダー／セクシュアリティに関する知識を身につけるとともに、それらをめぐる問題をグローバルな視点で多角的に考える力を養うことを目標としています。

エコシステム産業

講師：本学教員および外部講師(社会起業家)

本講義では、行動変容と社会イノベーションを実行するチェンジメーカー(社会起業家)を招き、対話やワークショップを中心に講義を行います。これからの価値競争の時代には、感動や自然、関係性といったこれまで貨幣や市場で評価されてこなかった、非貨幣・非市場経済の創出が重要となります。エコシステム産業＝「心産業(マインドストリー)」とし、豊かな関係性から様々な価値を生み出す社会起業家＝「マインドストリア」の育成を目指します。

自治体トップが語る自治体行政と地域政治

講師：自治体首長(市区町村長等)

本講義では、地域における政治・経済のキーパーソンとして活躍している自治体の首長や首長経験者を招き、現実の自治体行政の動きと地域の自己決定システムである地域政治の実態を学んでいきます。

【指導講師例】

- ・東京都杉並区長 ・東京都大田区長 ・東京都国分寺市長
- ・東京都東村山市長 ・埼玉県戸田市長 ・静岡県御殿場市長 など全14回

ビジネスと市場リスク

講師：本学教員および外部講師

本講座では、企業の後継者となる者だけでなく、地域のリーダーとして活躍したい者、地方自治体の職員、税理士やコンサルタント、地域金融機関あるいは地域社会に密接する企業に勤務したいと考えている学生を対象に、地域社会の有形資産、地域雇用、権能、理念、自然環境、文化、規範、ブランド、紐帯などを次の世代に引き継ぐ「社会的事業承継」を主導する「地域リーダー」としての基礎的な知識の習得を目的としています。

Point 3 グローバル教育 明治大学内でも先進的なグローバル教育を展開

▶詳細はP13~18

学生の多様なニーズに応えられるよう、多数の留学プログラムを用意しています。また、英語実践力特別強化プログラム「ACE」の少人数授業や、世界各国のトップスクールから教員・研究者を招へいして授業を行う「トップスクールセミナー」、グローバル社会で通用する力を身につける「グローバル

キャリア形成(GCD)プログラム」、「国際交流学生委員会(The Supporters)」など、日本にいながら、英語力向上・国際交流・留学体験ができる学内プログラムも充実しているため、自身にあったプログラムを選択し、国際的な視野を身につけることができます。



政治経済学部の4年間で学べること

変化の激しい現代社会に対応するため、政治経済学部では4年間を通じて段階的・体系的な学びを展開しています。1・2年次は、政治学・経済学・社会学を中心とした基礎理論や分析手法を幅広く学び、社会を多角的に捉える視野と学問の土台を形成。少人数制演習により、「主体性」や「論理的思考力」を養います。あわせて「基礎科目」や「外国語科目」などのリベラルアーツ

科目を通じ、問題を解決する「基礎体力」を修得。3・4年次には、専門分野を深める演習やゼミナール、応用科目で学びを深化させ、データ分析やフィールドワーク、政策立案など実践的な学修に取り組みます。教員や仲間との議論を重ねながら、社会課題に向き合い、専門性と行動力を備えた人材へと成長します。

4年間の学びの流れ



PICK UP ゼミ指導型コース制

3・4年次の応用科目の科目選択の目安・履修モデルとして、以下の「4つのコース」とさらに各コースを区分した「科目パッケージ」を配置しています。学生はゼミ担当教員の指導に基づいて、自身の研究テーマにふさわしいコース・科目パッケージを選び、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行います。なお、「専門演習」を履修しない(ゼミナールに所属しない)学生は、3年次にいずれかのコースを選択し、選択したコースの科目を20単位以上修得することを卒業要件としています。

Aコース	a 政治理論系パッケージ	b 国際政治系パッケージ	c 社会学系パッケージ
政治学・社会学コース	自治体経営論/国家論/現代国家分析/都市政策/都市行政/政治過程論/政治体制論/政治体制変動論/比較政治論/比較政治論(東アジア)/計量政治学/政治行動論/公共政策学	国際政治学/国際関係史/アジア政治論/アメリカ政治論/ラテンアメリカ政治論/アフリカ政治論/ロシア政治論/東欧政治論/国際法A/国際法B/比較政治論/比較政治論(東アジア)/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D	現代社会学A/現代社会学B/現代社会心理学A/現代社会心理学B/産業心理学/消費心理学/社会調査法/フィールドワーク論/比較社会学/民俗学A/民俗学B/社会人類学A/社会人類学B/地域情報論
Bコース	d 国際経済系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ
経済学コース	国際経済学/経済地理学/開発経済学/国際経済政策/国際金融論/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D	現代日本経済論/金融論/金融政策/地方財政論/財政政策/租税論/国際金融論	現代経済政策/食料経済学/環境経済学/産業組織論/中小企業論/地域産業論/人口学/労働経済学/社会保障論/協同組合学/地域開発論/地域振興論
Cコース	g 行政系パッケージ	h 産業・地域社会系パッケージ	i 広域・国際政策系パッケージ
政策学コース	自治体経営論/行政法/地域行政学/情報政策論/公共政策学/公会計学/都市政策/都市行政/地方財政論/社会保障論/地域開発論/財政政策/地方自治法/租税論/政策実践総合講座/応用政策論A~G	地域産業論/中小企業論/協同組合学/地域行政学/都市政策/都市行政/経済地理学/社会福祉政策論/地域情報論/コミュニティ福祉論/地域振興論/観光・文化政策論/社会的企業論/人口学/政策マーケティング/政策実践総合講座/応用政策論A~G	経済法/経済政策原理/金融政策/現代経済政策/開発経済学/国際経済政策/食料経済学/環境経済学/労働経済学/異文化ビジネス論概論/実践異文化ビジネス論/国際政治学/国際関係史/国際金融論/スポーツ文化論/政策実践総合講座/応用政策論A~G
Dコース	j 日本・アジア文化系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
国際地域・文化論コース	比較政治論(東アジア)/民俗学A/民俗学B/社会人類学A/社会人類学B/異文化ビジネス論概論/実践異文化ビジネス論/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論	国際政治学/国際関係史/アフリカ政治論/ロシア政治論/東欧政治論/比較政治論/国際経済学/異文化ビジネス論概論/実践異文化ビジネス論/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論	国際政治学/アメリカ政治論/ラテンアメリカ政治論/比較政治論/国際経済学/異文化ビジネス論概論/実践異文化ビジネス論/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論

カリキュラム体系図

教養豊かな専門人を育成するカリキュラム

多彩な教養科目・専門科目が用意されているため、幅広い選択肢の中から自身の興味・関心にあわせて学習していくことができます。

※新カリキュラム検討により変更となる場合があります。

※★は半期集中科目、☆は通年科目

科目区分	卒業に必要な単位数	科 目	
基礎科目	28	※4つの科目群から各4単位以上修得すること	
		人文科学科目群	哲学概論、哲学史、基礎論理学、応用論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、留学認定科目（基礎科目・人文）
		社会科学科目群	法学★、地理学★、文化人類学A・B、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、ジェンダー論I・II、留学認定科目（基礎科目・社会）
		自然科学科目群	基礎数学、数学概論、線形代数学I～IV、解析学I・II、科学史A・B、技術史A・B、物理学概論A・B、環境科学概論A・B、生命科学概論A・B、留学認定科目（基礎科目・自然）
		総合科目群	教養演習I A、教養演習I B、教養演習II A、教養演習II B、教養演習I C ☆、教養演習II C ☆、日本事情A～C、ICT ベーシック、共通総合講座I・II※、国際文化特殊講義A・B、Top School Seminar (International Cultures) A・B、留学認定科目（基礎科目・総合）
外国語科目	16	※2言語を選択必修とし、所定の単位（英語は6単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語および日本語は8単位以上）を修得すること	
		英語	英語I～IV、ACE Content-based Study、ACE General Communication Skills、ACE Exam Skills、ACE Presentation Skills、ACE Academic Training
		ドイツ語	ドイツ語I～IV（※ドイツ語を選択必修の外国語とする学生は、「ドイツ語I」2単位を必修）
		フランス語	フランス語I～IV（※フランス語を選択必修の外国語とする学生は、「フランス語I」2単位を必修）
		中国語	中国語I～IV（※中国語を選択必修の外国語とする学生は、「中国語I」2単位を必修）
		スペイン語	スペイン語I～IV（※スペイン語を選択必修の外国語とする学生は、「スペイン語I」2単位を必修）
		日本語（外国人留学生のみ）	日本語I～IV（※日本語を選択必修の外国語とする留学生は、「日本語I」2単位を必修）
学部間共通外国語	※「学部間共通外国語」科目のうち、政治経済学部で設置している言語科目		
健康・運動科学科目	4	1年次必修2単位	運動学演習I-1、運動学演習I-2
		選択必修2単位	運動学演習II-1・II-2、生涯スポーツ演習、運動学演習III-1・III-2、運動学演習IV-1・IV-2、健康・運動科学I～III
基本科目	3学科共通基本科目	海外留学演習I、海外留学演習II	
		政治学特殊講義A・B、社会学特殊講義A・B、経済学特殊講義A・B、経済政策特殊講義A・B	
		海外留学演習III・海外留学演習IV、留学準備講座、留学基礎講座	
		就業力育成総合講座	
		留学認定科目（基本科目・3学科共通）	

学科関係科目

科目詳細は各学科ページを参照してください

3学科共通関係科目	—	日本・アジア文化論A～D、日本・アジア地域論A～D、ヨーロッパ文化論A～D、ヨーロッパ地域論A～D、アメリカ文化論A・C・D、アメリカ地域論A・C・D、連環地域文化論A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、留学認定科目（応用科目・3学科共通）
専門演習科目	—	専門演習（卒業論文）IA、専門演習（卒業論文）II A、専門演習（卒業論文）III、専門演習（卒業論文）IV
専門研究科目	4	●専門演習（卒業論文）履修者 専門演習（卒業論文）IB、専門演習（卒業論文）IIB いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること ●専門演習（卒業論文）を履修しない者 専門研究I、専門研究II、専門研究III、専門研究IV
総合講座科目	—	応用総合講座A～G
応用科目	—	政治学特殊講義C～F、社会学特殊講義C～D、経済学特殊講義C～D、経済政策特殊講義C～D、国際文化特殊講義E～F、Top School Seminar (International Cultures) C～F、留学認定科目（応用科目・特殊講義）
情報科目	—	ICT統計解析入門、ICT統計解析応用、ICTデータベース入門、ICTデータベース応用、ICT画像編集入門、ICT画像編集応用、ICT動画編集入門、ICT動画編集応用、ICT音楽編集入門、ICT音楽編集応用、ICTプログラミング入門、ICTプログラミング応用、ICTWebページ作成、ICTeラーニングデザイン入門、ICTeラーニングデザイン応用、ICTプレゼンテーション
資格課程科目	—	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論
グローバル人材を育成する全学部共通科目	—	グローバル人材育成プログラム科目
卒業に必要な単位に含めない	—	実習科目（社会実習） 大学院政治経済学研究科設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目
合計 124 単位修得	—	①専門演習履修者は、4年次に通年で最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ②専門演習を履修しない者（コース登録者）は、在学最終学期に最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ③上記①の4年次および②在学最終学期における単位修得の要件には、外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含まない。

(1)表中の卒業に必要な単位数【基礎科目28単位、外国語科目16単位、健康・運動科学科目4単位、基本・応用科目42単位、専門研究科目4単位】を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位数に含める。
(2)専門演習を履修しない者および未修得者は、別に定めるコース指定の科目を20単位以上修得しなければならない。

文化や社会にも精通する教養豊かな 専門人を育む教養演習ゼミナール

教養演習 田村 久男 ゼミナール

▶ 〈テーマ〉ドイツの文化、生活と歴史

「ドイツ文化」を多面的に探究し、日本への理解をより豊かにする

1990年に東西ドイツが再統一を果たしてから、ドイツは政治・経済の両面でEUを主導する国の一つとなりました。また、作曲家のバッハやベートーベン、哲学者のカントやニーチェ、作家のゲーテやハイネなど、多くの文化人を輩出し、日本とも歴史的に深いつながりを持つ国です。19世紀後半に近代的な国民国家として統一される以前は、「神聖ローマ帝国」として大小多くの国々に分かれており、それぞれの地域で独自の文化が発展。現代のドイツも、政治や経済だけでなく、観光立国・環境先進国・スポーツ大国など多面的な特徴を持っています。

授業ではまず、比較的やさしい入門書を使用してドイツに関する基礎知識を学び、参加者が分担して各テーマを紹介し合います。発表内容だけでなく、発表の仕方や分かりやすさについても自由に意見や感想を出し合い、議論を深めます。そのうえで、それぞれが自身の関心に沿ったテーマを選び、自分なりの考察をまとめてプレゼンテーションを実施します。このように、スライドを用いた発表が授業の中心です。その過程を通して、参考文献の扱い方や資料の収集方法、引用の仕方など、レポートや卒業論文を書く際に必要となる基礎的なスキルを身につけます。

また、毎年夏休みには山中湖などのセミナーハウスで2泊3日のゼミ合宿を実施。散策やバーベキューを通してゼミ生同士の交流を深めます。野外での「3分動画」作成など、学生の希望も取り入れながら、バラエティに富んだ楽しく学べる授業を目指しています。

政治経済学部の教養演習は、1・2年生がともに学ぶ少人数ゼミナール形

式の授業です。学生が主体となって積極的に参加し、対話を重ねながら学ぶこの授業は、大学ならではの学びの魅力を実感できる場でもあります。意欲があれば、論文集『政経教養セミナー』への寄稿も可能です。皆さんの積極的な参加を期待しています。



MESSAGE



田村 久男 教授

政治経済学部では政治学・経済学・政策学を基軸としていますが、リベラル・アーツ（一般教養科目）も充実しています。主に1・2年次に和泉キャンパスで開講される授業では、外国語をはじめ、芸術や文学、歴史、哲学、スポーツ、科学、数学など、興味のある分野を幅広く学ぶことが可能。入学後は、まず自身の1年間の時間割を作成します。シラバスを参考に、国際的な視野を持つ教養ある専門人を目指し、新しい分野にも積極的にチャレンジしてください。

PROFILE

政治経済学部では、ドイツ語を担当。専門はドイツ文学で、現在はG.ケラーやJ.ゴットヘルフなど、19世紀に活躍したドイツ語圏スイスの作家を中心に、当時の文学におけるドイツとスイスの相互関係について研究しています。



政治学科2年
古川 千花子さん

千葉県
千葉市立千葉高等学校卒業

教養演習を通して学ぶ、 幅広い視野で考える力と伝える力



高校3年生のとき、憲法を実際の事例に基づいて解釈する授業があり、大きな関心を持ちました。また、自身の政治や社会に関する知識が十分でないの思いもあり、社会人になる前に学ぶため、政治経済学部を選択しました。入学後は、常識にとらわれず多角的に物事を考える力を養うことができました。政治は、行政だけでなく、家族や学校など身近な生活にもかかわるもの。私たちが日常で直面する問題も、広い意味では政治的な問題といえます。その知識を

もとに考察し議論することは、非常に有意義です。教養演習では、ドイツに関する様々なテーマを学生が発表。ドイツと日本を比較することで自国への理解も深まり、音楽や文学、食文化など幅広い分野に触れることができます。発表を通じて資料作成やプレゼンテーション能力を養える点、少人数で活発に意見を交換する機会が多い点も、大きな魅力。本授業を通じて身に付けた「伝える力」を、就職活動や社会人になってからも活かしていきたいと思えます。

1・2年次 教養演習

教養を深めることを目的とした授業で、文化・社会・言語等に関するテーマのゼミナールを設置しています。

【政経教養セミナー】教養演習のゼミナールに所属する学生の共同論文集として、『政経教養セミナー』を毎年発行しています。

■教養演習IA・IIA【春学期開講】／教養演習IB・IIB【秋学期開講】

氏名	演習テーマ
相原 耕作	社会科学スタディーズ入門
植田 麦	生成AIを活用する
兼子 歩	ジェンダーで考える歴史／現代社会をジェンダーで考える
仮屋 浩子	演劇を介してコミュニケーション力を向上させよう
嶋田 直哉	舞台芸術の魅力／読書マラソン-日本近代文学編
杉田 弘毅	メディアの仕組みとその役割
瀧口 翠	くずし字で書かれた文章を読む
星野 泉	財政と税入門

前田 更子	フランスからみえる世界——社会、政治、文化、人の暮らし——
丸川 哲史	鲁迅を読む
森本 陽子	英語で学び、協働し、発信する —留学に備え、未来につながる脳科学的学習と実践プロジェクト—
山岸 智子	中東の戦争と平和を考える
ヨーク, ジェームズ	ゲームの教育的な可能性について/ デジタルゲーム制作を通して、プログラミングの基礎を学ぼう

※2026年度の開講テーマです。開講期については、演習要項で確認してください。
年度により、テーマは変更となります。

■教養演習IC・IIC【通年開講】

氏名	演習テーマ
アベシムヘムディヤン セラゲ, ニロスC.	Changing Power Dynamics of Asian Politics
石井 千春	日本近現代文学を読む
井上 和哉	日韓食文化比較
海野 素央	ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルと コミュニケーションスタイル
遠藤 直樹	方程式の解の公式と群論
大森 正之	「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座
春日井 淳夫	体力・運動能力・健康度を探る
金子 隆一	人口とライフコースの変化から視る未来社会
後藤 光将	スポーツで社会を動かす
小西 淳文	JICA「課題別指針」や「SDGs」の理解と企画力・政策立案力の育成
小林 広直	英語原文と翻訳の双方で文学作品の「精読」の愉しみを学ぶ
齋藤 雅己	Economic Affairs(経済事情)
佐久間 寛	映像から学ぶ文化人類学的世界
佐々木 菜緒	ケベックの「物語」研究
佐原 徹哉	外国メディアから学ぶ現代世界の複合危機
柴崎 文一	プレゼンテーションで世界を変える!～TEDの世界～
ジョージ, ジョニー E.	Language Mysteries
陣野 俊史	サッカーを語り尽くす
高橋 聡	新書・文庫を通じて人間と社会を知る
高峰 修	ジェンダー研究入門

武田 和久	グローバル・ヒストリー:初期近代(16-18世紀)を中心に
武田 紘平	理論と実践から自身の体を知る
田村 久男	ドイツ——生活と文化、歴史
デヴェラ,ローナ ヴェリア	Japanese Culture in English for Cross-Cultural Exchanges ～国際異文化交流に向けて英語で日本文化を語る～
富澤 成實	夏目漱石と村上春樹を読む
永川 聡	現代ドイツ政治談議
中村 幸一	台湾研究
野口 健	町づくりを考えてみよう
羽根 次郎	貧困と周縁社会——ヤクザと革命の生まれ方
針ヶ谷 雅子	環境を考える～ともに生きる社会のつくりかた～
平山 茂樹	ダンス・身体・映像
ブルチャー, ミヒャエル	The Meiji Restoration and Meiji Constitution
ベナサリオ・ベルルッキ, アントニオ	Democracy, democratic backsliding, populism and polarization
堀越 喜晴	クラシック音楽を聴きながら、歴史、時代そして今について考える
本間 次彦	『史記』の世界
宮崎 イキサン	経済指標のwhat and so what
森下 正	ベンチャー・中小企業経営研究
森本 陽美	スポーツと法学

※2026年度の開講テーマです。年度により、テーマは変更となります。

知識・経験・自主性をバランスよく身につけながら、 問題解決力を磨くゼミナール教育

専門演習 宮崎 イキサン ゼミナール

▶ 〈テーマ〉国際経済に関する問題についての実証研究

現実を探究し、未来を設計する知の力

私のゼミでは、国際経済学、特に国際貿易を中心に国際経済に関わる様々な問題を分析し、政策提言につなげることを目指しています。国際経済というと、自分にはあまり関係のない遠い話のように感じるかもしれませんが。しかし実際には、私たちの生活は国際貿易や国際金融と深く結びついています。そうした現実を踏まえ、私のゼミでは特に三つの点を大切にしています。

まず一つ目は、学問的な基盤を重視すること。経済は社会のあらゆる課題と関係しています。これは一国内に限らず、国際社会でも同じです。しかし、経済に関する議論は感情的になりやすく、冷静な判断が難しいこともあります。だからこそ、重要な課題ほど、これまでの研究や知見に基づいた客観的な分析および議論が必要です。ゼミでは経済学、国際経済学の基本的な考え方をしっかりと学び、表面的な議論に流されない力を養います。また、既存の研究をただ受け入れるのではなく、健全な批判精神をもって議論する姿勢も大切にしています。

二つ目は、データやエビデンスを重視することです。どんなに論理的に見える主張でも、現実を説明できなければ意味がありません。理論と現実の整合性を取るためには、データに基づいた分析が必要不可欠です。ゼミでは、データの入手や確認の方法を学ぶだけでなく、自分で分析する力を身につけることを目指します。自分の考えや仮説をデータで検証する力は、将来どのような分野に進んでも必ず役立つはずです。

三つ目は、現実とのつながりを重視することです。学びの出発点が社会

の課題を理解し、考え、分析することであるならば、その結果が現実から離れてしまえば本末転倒です。もちろん、学術研究の成果のすべてがすぐに社会の問題を解決するわけではありません。しかし、「なぜその研究を行うのか」という動機を常に意識し、分析の目的や社会的意義を見失わないようにすることが大切です。ゼミでは、研究の動機に立ち戻りながら、現実の社会課題への応用を常に意識して学びを進めています。

ゼミは、大学ならではの「主体的に学ぶ力」を育てる場です。自分の興味関心を見つけるために学び、学ぶことで新たな疑問が生まれ、その疑問を解決するためにさらに学びを深めていく。そのような学びの連続こそがゼミの醍醐味であり、大学教員は、その学びの旅を導き、支える存在です。ゼミでの学びを通じて、卒業する頃には、自分で学び続け、成長し続ける力を身につけていることでしょう。



MESSAGE



宮崎 イキサン 専任講師

政治経済学部は、政治や経済の分野にとどまらず、幅広く高度な研究と教育が行われている学部です。まるで一つの文科大学のように、多彩な学びを通して、皆さんの好奇心を刺激し、探究心を育むことができます。AIが社会を大きく変えていくといわれる今の時代だからこそ、幅広い分野を専門的に学び、知識の土台をしっかりと築くこと、そして限りない好奇心を持ち続けることが大切です。講義で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

PROFILE

1988年、新疆ウイグル自治区ウルムチ市に生まれ、一橋大学経済学研究科を修了後、投資銀行に勤務。その後博士号を取得し、2020年より現職に就いています。専門は国際経済学や国際貿易、貿易金融の分野での実証分析です。



経済学科3年
柳田 真治さん

埼玉県立熊谷高等学校卒業

少人数ゼミナールで磨く、 データ分析力と伝える力

経済を学んでいた兄の卒業論文を読んだことがきっかけで、経済学に興味を持つようになりました。社会の出来事について、データに基づいて議論する力を身につけたいと思い、政治経済学部を選択。経済学を学ぶ中で、数字の裏にある社会の動きを考える面白さを実感し、ニュースをより深く理解できるようになりました。ゼミナールでは、国際経済学の教科書や海外の文献をもとに発表を行い、発表者と聞き手が質問し合いながら理解を深めます。発表資料の作成時には、教科書に掲載さ

れたグラフを再現するために、海外の英語のサイトから情報を収集することもあります。他にも、ExcelやPythonでデータを処理・分析する中で実践的なスキルを習得。少人数で意見を出し合いながら学ぶことで、論理的に考え、伝える力が養われています。互いの得意分野を生かして助け合う雰囲気の中で、仲間たちの全力で取り組む姿に刺激を受け、自分も多くのことに挑戦するように。これからも挑戦する姿勢を忘れず、周囲に良い影響を与えられる人になりたいです。



3・4年次 専門演習

3・4年次設置の専門演習には、7割近くの学生が所属しています。70近くの多彩なゼミナールを配置し、学生の学習ニーズに応じています。

3・4年次2年間の学習・研究の成果として卒業論文を提出することが義務づけられ、各学期2単位の計8単位を付与します。

担当教員の指導を受けながら、学生自身のイニシアチブで研究に取り組み、その成果をアウトプットする、という高次の能力を身につける機会となります。

2年次の秋学期に、専門演習入室試験が行われます。

[ゼミ指導型コース制]

専門演習を履修する学生は、ゼミナール担当教員の指導に基づき、自身の研究テーマに沿ったコース・科目を選択し、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行います。

[政経セミナー]

専門演習のゼミナールに所属する学生の共同論文集として、『政経セミナー』を毎年発行しています。ゼミの仲間と同じ研究テーマに向けて調査・研究を行い、ひとつの論文を書き上げ、それが発行物として後に残るので、学生時代の大きな思い出となるでしょう。

[ゼミナール発表会]

日頃のゼミナール活動の研究成果を発表する場として「ゼミナール発表会」を開催しています。ゼミナール発表会には、卒業生など学外の方も聴講に訪れ、非常にレベルの高い発表会となっています。

■各ゼミナールの紹介

政治経済学部HPにて、各ゼミナールの「研究内容」「授業の進め方」「卒業論文テーマの例」「卒業生の進路」など、様々な情報を掲載しています。



グローバル教育

政治経済学部では、留学の促進や国際的な視野を有した学生の育成を目的として、学部独自の「グローバル教育」を実施しています。

政治経済学部では、これからのグローバル社会に対応するため、強い「個」と高いコミュニケーション能力を有し、他者・多文化への洞察力を備え、それぞれの専門領域において活躍できる人材を育成することを目的とし、先進的な取り

組みを行っています。

これらの取り組みを通じて、政治経済学部は明治大学の国際化をさらに推進し、世界に貢献する「グローバル公共人材」育成の拠点となることを目指します。

学部独自の留学プログラム

政治経済学部には、学部間協定に基づく独自の留学プログラムが多数あり、北京大学(中国)、ロンドン スクール オブ エコノミクス アンド ポリティカルサイエンス(英国)、南洋理工大学(シンガポール)等の世界トップレベル

の大学に留学できます。学部プログラム・大学プログラムを通じて、政治経済学部では毎年多くの学生を海外に留学派遣しています。

政治経済学部 留学プログラム一覧

派遣種類	国・地域名	大学名(プログラム名)
学部間協定留学「授業料免除型」 (1学期 or 1学年間)	タイ	シーナカリンウィロート大学 タマサート大学 チュラロンコン大学
	中華人民共和国	北京大学
	台湾	国立政治大学 国立台湾大学
	大韓民国	延世大学
	シンガポール	南洋理工大学
	ベトナム	ハノイ貿易大学 ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 ホーチミン市経済大学
	インドネシア	ベトラクリスチャン大学
	オランダ	ロッテルダム応用科学大学
	フィンランド	東フィンランド大学
	ドイツ	ノイウルム応用科学大学
学部間協定留学「授業料負担型」 (最長13週間)	イギリス	ロンドン スクール オブ エコノミクス アンド ポリティカルサイエンス(LSE)・SS*
短期留学(引率なし型)(2~6週間)	イギリス	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院(SOAS) IFCELS・SS* オックスフォード大学(LMH)SS*
	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
短期留学(引率あり型)(2~4週間)	アメリカ	ノースイースタン大学
	タイ	シーナカリンウィロート大学 ほか
	オーストラリア	西シドニー大学
ダブルディグリープログラム	タイ	タマサート大学

*SS: サマースクール

STUDENT VOICE

学部間協定留学(短期)



経済学科2年
門倉 咲綺さん

東京都
私立学習院女子高等科卒業

留学先▶タイ

タイの学生と英語を使って交流。 コミュニケーション能力が格段に向上しました

海外での中長期留学を見据えて、まずは海外での学生生活を体験してみたいと考え、短期留学に参加しました。留学先のタイは英語が第一言語ではないため、英語を日常的に話せるのかを懸念していましたが、首都のバンコクはほとんどの場面で英語が通じる環境で、英語でのコミュニケーションに困ることはありませんでした。タイの学生は皆とても優しく接してくれて、お互いに英語が第一言語でない中でも懸命にお互いの言いたいこと

を伝え合い、楽しく交流することができました。放課後に観光地やナイトマーケットへ一緒に出かけたことは、とても良い思い出です。この留学で培った英語力やコミュニケーション能力は、私が所属している政治経済学部の国際交流学生委員会「The Supporters」での活動や、英語実践力特別強化(ACE)プログラム*の授業などで活かしていると感じます。また、当初の目的であった中長期留学への参加意欲もさらに高まりました。

※ACE: P.15参照

習熟度に応じた多彩なプログラム



Step 1

留学前に基礎英語力を強化する!

- 英語実践力特別強化(ACE)プログラム
- 国際交流学生委員会「The Supporters」
- 英語テスト無料受験(TOEIC®、TOEFL® ほか)



Step 2

留学を体験する!

- トップスクールセミナー
- 短期留学(引率なし型)
- 短期留学(引率あり型)



Step 3

留学を実践する!

- 学部間協定留学
[授業料免除型](1学期or1学年間)
[授業料負担型](最長13週間)
ダブルディグリープログラム
- 大学間協定留学



■プログラムの選び方

留学や国際交流に対する動機や目的は人それぞれ。自分にぴったりのプログラムを見つけてみよう!

国内で力をつけたい	TOEIC®・TOEFL®・IELTS™等のスコアを伸ばしたい	英語実践力特別強化(ACE)プログラム
	英語を用いたプレゼンテーション力を伸ばしたい	
	英語で専門分野を学びたい	トップスクールセミナー (専門分野を英語で学ぶ・国内留学体験)
春休み・夏休みを利用して留学したい	語学力を伸ばしながら異文化理解を深めたい	The Supporters (政治経済学部 国際交流学生委員会)
	学部を通じて手続きを行いグループで留学をしたい	短期留学プログラム(引率あり型)
1学期間以上留学したい	自分で手続きを行いより実践的な留学をしたい	短期留学プログラム(引率なし型)
	1学期～1学年間留学して海外大学で授業を履修し単位を修得したい	学部間協定留学プログラム
グローバル社会で活躍できる人材になりたい 英語を用いて働いている人の話を聴いてみたい	3学期間以上留学して明治大学と海外大学の両方で学士号を取得したい	ダブルディグリープログラム
	英語を用いた仕事(キャリア)を選択肢としたい	グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

STUDENT VOICE

学部間協定留学(長期)



経済学科4年
村上 凜花さん

東京都
私立明治大学付属八王子高等学校卒業
留学先 台湾

留学先であらゆる出来事を乗り越え、 人間的な「強さ」が身についた

グローバル化が進む現代を生き抜くためには、外国語でのコミュニケーション力や、世界を自分の目で見る必要があると感じ、留学を決めました。留学先の学びで印象に残っているのは、グループプレゼンテーションの授業です。異なる国籍を持った仲間同士がお互いの意見をぶつけ合いながらプレゼンテーションの構想を練る経験は、引っ込み思案で、自分の意見を主張するのが苦手だった私にとって、殻を破る良い機会になりました。留

学中に遭遇した一つひとつの経験が、私の決断力や判断力を高めてくれる貴重なものでした。帰国後も、一見意味のない出来事がどこかで自分を成長させてくれると信じ、何事も全力で取り組むようにしています。留学を通して、学力はもちろん、人間としての器を成長させることができたと感じています。

英語実践力特別強化(ACE)プログラム

ACEとは“Advanced Communicative English”の略で、通常の英語クラスとは別に設けられた政治経済学部独自のプログラムです。

グローバル社会で通用する実践的な語学力を強化するための少人数の授業で、学生の主体的な学びを促すために多様なアクティビティが用意されています。ディスカッションやプレゼンテーションスキルの強化はもちろんのこと、TOEIC®やTOEFL®などの資格試験や留学準備対策、ニュースメディア等を活用して社会事情や文化的背景を学ぶ授業まで、様々な内容の授業が数多く設置されています。



「ACE」授業内容

ACE Content-based Study

教養科目などの専門家による、英語による文献、映像、講義などを通してのより高度な内容の授業。

ACE General Communication Skills

英語コミュニケーション能力の向上にフォーカスした講義を展開する授業。

ACE Exam Skills

TOEFL®(主に留学の際に使われる検定試験)、IELTS™、TOEIC®のスコアを伸ばすための授業。

ACE Presentation Skills

英語文献でリサーチし、英語でのプレゼンテーションおよび質疑応答に必要なスキルを伸ばす授業。

ACE Academic Training

海外大学で要求されるレベルの英語の読み書き、講義やディスカッションへの参加に必要なスキルを身につける授業。

※新カリキュラム検討により変更となる場合があります。

■ 紹介ページ

https://www.meiji.ac.jp/seikei/govern_special/aceprogram.html



STUDENT VOICE

ACE



経済学科4年
大塚 彩乃さん

東京都立両国高等学校卒業

英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶ。
まるで留学しているかのような理想的な環境

高校時代に留学を経験し、英語力を維持するために、英語を学ぶのではなく、英語で授業を受けたいと考えたのがACEに参加したきっかけでした。勉強や発表のためだけでなく、授業内の会話もすべて英語で行われるため、留学に近い形で授業を受けることができます。ACEを受講している同級生の多くが、留学を考えていたり、英語を話すのが得意だったり向上心が高く、良い影響を受けました。また、Content-based Studyでは、小学生に向け

てSDGsの授業を英語で実施。日常会話から専門的な分野まで、英語でリサーチ、議論、発表までを一貫して行う能力が培われました。私は将来、国際系の仕事に就くことを目標としており、ACEで得た力は必ず武器になると考えています。

国際交流学生委員会「The Supporters」

初めまして！

明治大学 政治経済学部 国際交流学生委員会「The Supporters」です！

私たちは留学生にとって日本での学生生活がより楽しく、安心なものになるよう、様々な活動を行っています！

短期留学生に向けてはウェルカムパーティや合宿、長期留学生に向けては観光スポット巡りや、日本文化体験などを企画しています！その他企画も盛りだくさんののでぜひ活動をチェックしてみてください！

多くの留学生と交流ができることに加え、学部内に多くの友人ができることもThe Supportersの魅力です！

国際交流、イベントの企画運営、新しいアイデア実現などに興味のある方、そんなあなたにぴったりのThe Supportersと一緒に活動してみませんか？



■ 紹介ページ

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/thesupporters.html>



トップスクールセミナー

政治経済学部では、世界各国の「トップスクール」から教員・研究者を招へいしています。各教員は、政治学・経済学・社会学・行政学・歴史学といった専門分野の講義を英語で実施しています。これらの授業を「トップスクールセミナー」と呼んでいます。

学生は日本にいながら、特別な費用をかけずに世界の「トップスクール」での授業を体験でき、英語力を磨くだけでなく、専門分野に対する興味と視野を広げることができます。また、将来の留学に向けた「留学体験」ができる、貴重な機会にもなります。

■ 紹介ページ

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/topschool.html>



▶ 過去にトップスクールセミナーを担当した教員の所属大学、所在国、専門分野（一例、国名順）



インドネシア大学（インドネシア）
東南アジアをめぐる国際関係



オタワ大学（カナダ）
ポストケインズ派経済学入門



タマサート大学（タイ）
グローバル公共政策とガバナンス



ロンドン大学
東洋アフリカ研究学院（イギリス）
欧州の金融システムと経済問題



西シドニー大学
（オーストラリア）
日本をめぐる国際関係



カリフォルニア大学
パークレー校（アメリカ）
環境政策、公共衛生学

STUDENT VOICE

トップスクールセミナー



政治学科3年
高橋 彩乃さん

宮城県
私立仙台育英学園高等学校卒業

英語力と積極性で広がる、 国際的な挑戦の場

政治経済学部主催の、グローバル人材育成プログラムに参加した際に「トップスクールセミナー」を紹介され、受講しました。授業はすべて英語で行われ、和泉キャンパスにいながら高度な学びが得られる点が魅力。英語で考え、書き、話すスピードが格段に上がり、瞬発的に英語で表現する力が鍛えられました。講師の方は、アメリカで経済学を学び、コンサルティングに従事後、台湾の大学で教鞭を執ったという珍しい経歴を持つ方。講義の中で、学問へ

の向き合い方やキャリア形成について惜しみなく助言して下さったことが印象的です。授業を通して、つたない英語でも進んでコミュニケーションをとる積極性が身についたと思います。現在は、留学生との交流イベントの企画運営や、来日留学生の支援ボランティアに参加。こうした経験に、トップスクールセミナーで培った英語でのコミュニケーション力が直接活かされていることを実感します。今後は、学外の国際ボランティアにも挑戦していきたいです。

世界で通用する力をつける グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

所属学科それぞれのカリキュラムに応じた科目を自由に履修しながら、グローバル社会で通用する実践的語学力・コミュニケーション能力に加え、国際社会に関する基礎的知識を習得。柔軟な思考力・洞察力および優れた問題解決力を持ち、世界を舞台に最前線で活躍できる人材を育成します。

POINT!

- 1 優秀な成績を修めた学生に奨学金(支援金)を授与*
- 2 グローバルキャリアを考え、準備する機会を提供
- 3 プログラムの修了要件を満たした学生に修了証を授与

※海外留学やインターンシップなどに利用可能

▶ 1年次からの参加基準例

参加希望者の中から、入学時に行われるTOEIC®のスコアにより選抜します。それ以外の参加希望者については、下記の語学基準のいずれかを満たす場合、参加できます。

英語	TOEFL® iBT68(2026年1月20日以前受験)TOEFL® iBT4(2026年1月21日以降受験)IELTS™6.0以上
ドイツ語	Goethe-InstitutでGoethe-ZertifikatB1以上の級において総合点6割以上
フランス語	DELTA・DALFでDELTA B1以上の級において合格
中国語	HSKで筆記試験3級以上の級において総合点6割以上、および口頭試験中級以上の級において6割以上
スペイン語	DELEでB1以上の級において合格



5 英語を用いた 教養・専門科目の学習

日本語だけでなく、英語で展開される教養・専門科目を受講することで、的確な語彙を習得するとともに、専門知識や概念に関する理解を深め、グローバル社会の幅広い分野で即戦力となる学生を育てます。



「世界を舞台に活躍する人材へ」

卒業後のキャリアイメージ

国内・海外グローバル ビジネス	外務省・ 国際機関職員
特定非営利 活動法人(NPO)	国際協力機構 (JICA)など
	海外の大学、 日本・海外の 大学院での研究



3~4年次

国内で専門的学習



5

国内で
「英語で学ぶ」
を实践



PICK UP

グローバルキャリアについて考え、準備する機会を提供

▶ GCDフォーラム

政治経済学部卒業生による講演会

学生が早期に自身のキャリアイメージを形成することを支援するために、現在グローバル社会で活躍する政治経済学部卒業生によるフォーラムを定期的に開催しています。「現在の仕事内容」「進路選択のポイント」や「学生時代にやるべきこと」など、卒業生の生の声を聞くことができるため、非常に満足度の高いイベントとなっています。

▶ GCDオフィスアワー

国際経験が豊富な教員による個別相談

履修から留学・就職に関する内容まで、国際経験豊富なプログラムアドバイザーに直接相談することができるオフィスアワーを定期的に設置しています。

プログラムアドバイザー

MESSAGE

グローバル世界の進展につれて、国際社会と接点のある業務はさらに拡大することになり、これに対応できる人材がますます重宝されるようになります。皆さんもチャレンジしましょう！ 将来がさらに開けます。

小西 淳文 特任教授

PROFILE -----
開発社会学を学びJICA、外務省に。ザイール、セネガル、ベナンでの滞在計10年。他にも約40カ国に出張経験あり。



GCDプログラム
紹介ページ



政治学科

○ 人間とそれが構成する社会を対象とした総合科学

学科の概要

政治学科の特長は、政治や社会の仕組みを理論と事実に基づいて分析し、幅広い視野と専門性を備えた人材を育成する点にあります。政治を実践論として捉えるのではなく、政治過程やその背景にある社会状況を客観的に読み解く力を養成。グローバル化が進む現代社会に対応するため、国際感覚や外国語能力を重視し、政治・社会を専門的に議論できる力を育みます。また、歴史・制度・文化など隣接分野を横断的に学ぶことで、社会現象を多面的に理解し、変化の中にある本質を見抜く判断力が身につけられる点も大きな特長です。さらに、自ら考え行動する姿勢を養い、社会に主体的に関わる力も培います。将来は公務員や国際分野など幅広い進路に対応します。

政治学科関係科目

	1年次	2年次	3年次～4年次
必修科目	憲法A、憲法B、政治学基礎、 政治理論基礎、 政治学・社会学総合講座、 政治学原論★		政治思想史、政治理論史、 西洋政治史★、現代思想、 日本政治思想史、 メディアリテラシー論、 マスコミュニケーション論、
基本科目		行政学基礎、行政理論基礎、 社会学A、社会学B、 ジャーナリズム論A、ジャーナリズム論B、 メディアコミュニケーション論、 統計学、社会科学方法論、 Top School Seminar (Politics) A・B、 Top School Seminar (Sociology) A・B	自治体経営論★、国家論、 国際政治学★、都市政策、 政治体制論、政治体制変動論、 比較政治論(東アジア)★、 国際関係史★、 アメリカ政治論、 アフリカ政治論、 東欧政治論、 現代社会学B、 現代社会心理学B、 消費心理学、 フィールドワーク論、 民俗学B、 社会人類学B、地域開発論、 応用数量分析、国際法A、 Top School Seminar (Politics) C～F、
選択科目			選択科目
			応用科目



目指す将来イメージ

国家・地方公務員、大企業・中小企業、ジャーナリスト、教員、国際機関職員、
国会議員・地方議会議員、ベンチャー起業家、大学院進学



※★は半期集中科目

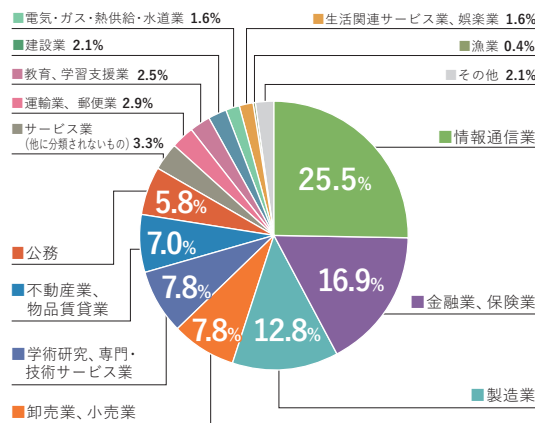
日本政治史★、
現代政治理論、
日本政治文化論、
国際コミュニケーション論、
メディアと世論

現代国家分析、
都市行政、政治過程論★、
比較政治論★、
計量政治学、政治行動論、
アジア政治論、
ラテンアメリカ政治論、
ロシア政治論、
現代社会学A、
現代社会心理学A、
産業心理学、
社会調査法、
比較社会学★、民俗学A、
社会人類学A、
地域振興論、地域情報論、
国際法B、行政法★、
中国政治論、
Top School Seminar
(Sociology)C~D

※他学科関係科目も履修可能

2024年度業種別就職状況

※グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。



2024年度就職実績

東京特別区	大和証券グループ
(株)NTTデータグループ	日本製鉄(株)
(株)NTTドコモ	日本アイ・ピー・エム(株)
ソフトバンク(株)	日本紙パルプ商事(株)
(株)千葉銀行	日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)
富士通(株)	農林中央金庫
アクセントチュア(株)	野村証券(株)
EY新日本有限責任監査法人	(株)野村総合研究所
SMBC日興証券(株)	BIPROGY(株)
NTT都市開発(株)	(株)福岡銀行
オリックス(株)	本田技研工業(株)
国家公務員(一般職)	三井住友信託銀行(株)
コムチュア(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
(株)ジェーシービー	三菱UFJニコス(株)
損害保険ジャパン(株)	明治安田生命保険(相)

Student Voice

学生の声

政治学科3年

津端 華子さん

新潟県立長岡高等学校卒業



実践を通じた学びを世界で活かしたい

世界で活躍したいという思いから、政治・経済・社会を幅広く学びたいと政治学科へ入学。2年生ではフィンランドへの交換留学に挑戦。ゼミでは、担い手不足が深刻な地方のまちづくり活動に参加し、地方の困りごとを解決できないかという問題意識のもとアプリを開発中。多様な立場の人々と協力しながら、成果を形にする力が養われました。将来は国内外の人をつなぐ役割として社会課題の解決にかかわりたいです。

時間割の例

上段：春学期、下段：秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	都市政策 都市行政		国際コミュニケーション論	日本政治思想史 日本政治文化論	西洋政治史	
2	現代思想		ロシア政治論 東欧政治論	現代社会心理学B	西洋政治史	
3	専門演習 専門演習					
4	専門演習 専門演習			民俗学A		
5						

Message

教員からのメッセージ

西川 伸一教授



政治学科の学びの目的は、
主権者としての高い識見を
体系的に身につけることです。

絶海の孤島でたった一人で一生を送ることはまず不可能です。人間である限り社会に暮らし、そこでの政治の営みと折り合って生きていきます。家庭がその原点であり、国際社会はその極大版です。政治学科の学びは、人間であれば避けられない「政治」という現象について様々な角度からアプローチするものです。そのために、理論・歴史・思想史、国際政治、地域研究に関する豊富な科目を提供しています。また、政治の前提になる「器」は社会です。この「器」を学ぶために社会学に属する科目も多く設置しています。政治学科の学びを通じて、主権者としての高い識見を体系的に身につけてほしいと念じています。

▶▶Pick up

国家論 西川 伸一 教授

とりわけ現代国家をめぐる政治学の諸潮流の議論を、左右のイデオロギー軸を意識して概括的に講じていきます。その際、できるだけ具体的な事例を踏まえて説明することを心がけます。

○ 社会全体が幸せになる方策を考える

学科の概要

経済学科の特長は、経済学を基礎に据えつつ、政治学・行政学・社会学などの関連分野を横断的に学び、社会を総合的に理解する力を養う点にあります。経済を「経世済民」、すなわち「世の中を治め、人々を救う」学問として捉え、貧困や経済格差、少子高齢化、環境問題、貿易の自由化といった現代社会が抱える多様で複雑な課題に向き合います。日常的な経済活動が生み出す問題を分析し、富の公正な分配や福祉の在り方を考えることで、理論と現実を結び付けた政策的思考力を育成します。グローバル化が進展する社会に対応できる広い教養と創造性を備え、「社会の病氣」を解決する実践的な人材の育成を目指している点が大きな魅力です。

経済学科関係科目

	1年次	2年次	3年次～4年次
必修科目	マクロ経済学Ⅰ、 マクロ経済学Ⅱ、 ミクロ経済学Ⅰ、 ミクロ経済学Ⅱ、 経済史*、 経済学総合講座	経済政策、 財政学、 経済学史、 現代経済事情 選択必修科目	社会経済史、近代経済学史*、 社会経済思想史*、近代経済学*、 計量経済学*、数理経済学*、 現代日本経済論、産業組織論*、 国際金融論*、経済地理学*、 地方財政論*、中小企業論*、 労働経済学*、社会保障論*、 食料経済学*、開発経済学*、 環境経済学*、租税論、 Top School Seminar (Economics) C～D、
基本科目	経済原論*、統計学*、数量経済分析、 日本経済史*、経済思想*、社会思想史*、 簿記論*、社会科学方法論*、 Top School Seminar(Economics) A・B、 Top School Seminar(Economic Policy) A・B		選択科目 応用科目
選択科目			



目指す将来イメージ

国家・地方公務員、大企業・中小企業、公認会計士・税理士、ジャーナリスト、
エコノミスト・証券アナリスト、教員、国際機関職員、国会議員・地方議会議員、
ベンチャー起業家、大学院進学

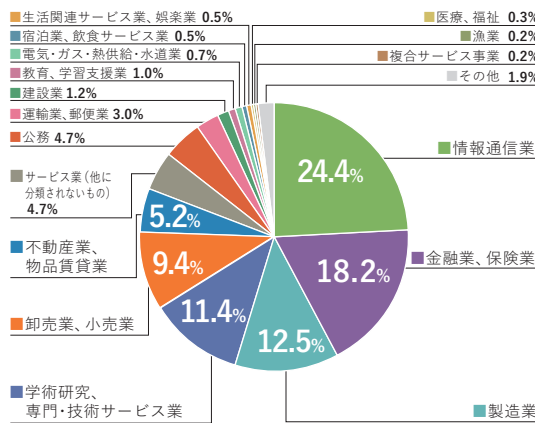


※★は半期集中科目

国際経済史、現代経済史、
経済統計学★、経済変動論★、
経済政策原理、国際経済学★、
金融論、金融政策、
地域開発論、地域振興論、
地域産業論★、人口学★、
協同組合学★、現代経済政策★、
国際経済政策★、財政政策★、
応用数量分析、
Top School Seminar
(Economic Policy) C～D

2024年度業種別就職状況

※グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。



2024年度就職実績

(株)NTTドコモ	三菱HCキャピタル(株)
日本郵政グループ	レバレジーズ(株)
(株)みずほフィナンシャルグループ	SMBC日興証券(株)
三井住友信託銀行(株)	NTTファイナンス(株)
東京特別区	TIS(株)
(株)日本総合研究所	東京都庁
(株)三菱UFJ銀行	日本電気(株)
りそなグループ	日本生命保険(相)
SCSK(株)	野村證券(株)
NECソリューションイノベータ(株)	野村不動産(株)
NTT東日本グループ	(株)マイナビ
コムチュア(株)	(株)三井住友銀行
大和証券グループ	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
(株)ニトリ	明治安田生命保険(相)
(株)ペイカレント	楽天グループ(株)

※他学科関係科目も履修可能

▶▶Pick up

マクロ経済学 平口 良司 教授

本授業では、景気変動やインフレなど、一国全体の経済の動きを分析する際の手法を学びます。授業を通して、現実の日本や世界の経済の状況を理解できるようになるのが目標です。

Student Voice

学生の声

経済学科3年

三好 大翔さん

北海道札幌南高等学校卒業



論理的に課題を捉え、 広い視野で最適解を導く人へ

経済の仕組みを体系的に学びたいと思い、経済学科に入学しました。現在はデータ分析を用いて、理論的な視点と実証的な分析の両面から経済を探究しています。特に印象に残っているのは、「社会保障論」で年金や医療制度の課題を学び、理論と実態のギャップを実感したこと。論理的な思考と柔軟な発想を持つことの重要性を感じました。今後はこれらの力を活かし、最適解を導ける人を目指します。

時間割の例

上段：春学期、下段：秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	地域産業論	財政政策 消費心理学		社会保障論 経済統計学		
2	地域産業論	財政政策 労働経済学		社会保障論 経済統計学		
3		労働経済学		専門演習(外国語研究・読書研究) 専門演習(外国語研究・読書研究)		
4				専門演習(卒業論文) 専門演習(卒業論文)		
5						

Message

教員からのメッセージ

平口 良司教授



社会経済問題を 主体的に解決する能力の育成を

経済学科では、20名以上の専任教員スタッフが、理論・実証・歴史など自身の専門分野に基づいた講義を行っています。同時に、少人数教育の一環として、ゼミも多数開講しています。入学後は、様々な講義の受講、そしてゼミでの少人数指導を通して、まず経済に対する多角的な視点を身につけてほしいです。そして、格差、インフレ、温暖化など今の日本・世界における実際の社会経済問題に関心を持ち、その問題を解決する方法を主体的に見つけ出せるようになってほしいと願っています。将来への希望に満ちあふれた皆さんが入学されるのを教員一同心待ちにしています。

政策学科

○ 社会が求めているのは課題解決のプロフェッショナル

学科の概要

政策学科の特長は、政治学・経済学・社会学をバランス良く学び、複雑化・高度化する現代社会の課題に対して、実効性の高い解決策を導く力を養う点にあります。地方・都市・国・世界といった多様な地域で生じる社会的事象を、歴史や思想を踏まえた多角的な視点から捉え、課題を的確に把握し、政策として構想・立案・実践へと結び付けます。統計やデータ分析、フィールドワークなどを重視した実践的な学びを通じて、理論と現実を往復しながら思考する力を修得。官公庁や民間企業、国際機関、シンクタンク、コンサルティングファーム、金融機関など、官民を問わず幅広い分野で社会を動かす人材の育成を目指しています。

政策学科関係科目

	1年次	2年次	3年次～4年次
必修科目	政策学基礎、 憲法B、 政治学基礎、 政治理論基礎、 マクロ経済学Ⅰ、 ミクロ経済学Ⅰ	行政学基礎、 行政理論基礎、 政策研究総合講座、 経済政策	地域行政学★、都市政策、 自治体経営論★、地方財政論★、 情報政策論、公共政策学★、 社会福祉政策論、 地域産業論★、中小企業論★、 食料経済学★、労働経済学★、 実践異文化ビジネス論、 環境経済学★、地域情報論、 経済地理学★、地域開発論、 応用数量分析、民法(債権)、 経済法★、租税論、 金融政策、現代経済政策★、 国際経済政策★、財政政策★、 国際法B、観光・文化政策論、 政策マーケティング、 政策研究インターンシップ
基本科目	民法(総則)、民法(物権)、地域研究論、 地域分析法、簿記論★、統計学★、 社会科学方法論★、 数量経済分析、社会学A、社会学B、 憲法A、マクロ経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅱ、 政策フィールドスタディーズ、 政策評価・デザイン、財政学、 現代経済事情	選択必修科目	選択科目
選択科目			応用科目



目指す将来イメージ

政策にかかわる主体は多様であり、官民を含めた多様な分野の進路を想定しています。国家公務員・地方公務員・国際機関などの国内外の公的機関、シンクタンク、コンサルティングファーム、鉄道・航空、電力・エネルギー、金融、都市開発・不動産、商社、メーカー、IT・通信、観光、スタートアップ(起業)、研究者(大学院)など。



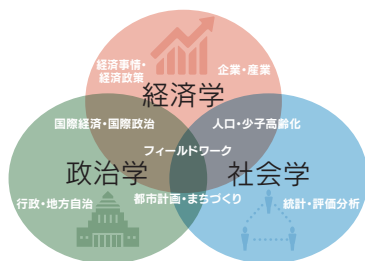
※★は半期集中科目

都市行政、地方自治法、
社会保障論★、
公会計学★、行政法★、
コミュニティ福祉論、
協同組合学★、
異文化ビジネス論概論、
応用政策論A～G、
人口学★、
地域振興論、
民法(家族法)、
経済政策原理、
開発経済学★、
国際法A、
社会的企業論、
政策実践総合講座、

政策学科の特長

**政治学、経済学、
社会学などを
バランス良く学ぶ**

多様な分野の知識を融合し、実効性の高い
解決策や具体的手段を立案する力を応用・
実践的に身につけます。



分析力

**知識、データ、
フィールドワークを
用いた実践的な学び**

国内外の諸課題を解決するために、多様
な学びを組み合わせ、多様な地域をめ
ぐる理論と現実への理解を深めます。

基礎知識と手法

課題把握

専門分野

実践

解決力

※他学科関係科目も履修可能

▶▶Pick up

政策フィールドスタディーズ 野澤 千絵 教授

地域の实情に応じた実効性ある政策の立案には、「EBPM(証拠に基づく政策立案)」の実践力と、「データだけでは見えない現場のニーズ・課題」を読み解く力の双方を鍛える必要があります。本講義では、都市づくり・地域活性化・地方創生にかかわる政策を対象に、法制度・計画とデータ分析から導き出した仮説を、フィールドワークで検証し、データと現場の両者からの地域課題を解読し、その課題に対して論理的かつ実現可能な政策提案を演習します。

Message

教員からのメッセージ

野澤 千絵教授



**複雑化する社会課題の解決策を
ロジカルに構想・実践したい人、集まれ!**

政策学科は、複雑・多様化する様々な課題に対する解決策を、ロジック(論理)と分析(エビデンス)に基づいて提示・実践するための学びを重視した学科です。「政策学基礎」「政策フィールドスタディーズ」「政策評価・デザイン」といった専門科目とともに、「政治学」「経済学」「社会学」などの理論・知識をバランスよく学び、多様な分野の学びを的確に組み合わせ、課題の本質を把握し、解決策を構想し、自ら実践ができる課題解決のプロフェッショナルをみんなで目指しましょう。

Message

教員からのメッセージ

飯田 泰之教授



総合科学・社会科学としての政策実践

理念にとどまらない具体的な政策には、単一の分野にとどまらない総合的な知識が必要になります。たとえば、「商店街を活性化したい!」と思ったら... 経済学は都市経済の論理で現状の問題点を教えてくれるでしょう。一方で、再開発には建築の知識が必要です。さらに商店街のプレーヤー間の連携を考えるには社会学が、活性化の許認可や支援を得るには行政学を知る必要がある。効果的な課題解決には個々の学問分野をつなぐ、組み合わせる実践が必要です。政策学科で様々な専門分野を総合する技術と技法、その豊富な実例を学んでいきましょう。

政治経済学部専任教員氏名および研究テーマ (2026年4月1日現在)

※退職等により変更となる場合があります。

政治学科

氏名	研究テーマ
相原 耕作	日本政治思想史、江戸時代の言語研究と政治思想の関係
アベシハムディヤンセラガ、ニロスC.	国際政治、南アジア政治、グローバル・ガバナンス
荒木 淳子	主体的なキャリア形成のあり方とそれを支える組織・社会に関する研究
碓 陽子	食べることと身体、フェミニスト人類学とエスノグラフィ
井田 正道	現代日本における世論および選挙に関する実証的研究
伊藤 剛	国際政治理論、アメリカ外交、アジア太平洋地域国際関係
重田 園江	ミシェル・フーコー研究、社会連帯の思想と歴史、社会契約論
海後 宗男	ICTやSNSが社会参加や政治、合意形成に与える影響/メディア・コミュニケーション論
加藤 彰彦	家族・人口・社会構造の国際的ならびに歴史的比較研究
加藤 言人	民主主義下の世論形成、代表メカニズムに関する数理・実証的検討
川崎 周一	独仏関係史、欧州統合史、EU研究
木寺 元	現代日本政治分析、地方政治論
小西 徳徳	足尾鉛毒事件、三木武夫、政治倫理の歴史と現状
税所 真也	現代社会学、家族・ジェンダー、量的/質的データ分析法
鍾 家新	社会福祉政策および社会変動に関する日中比較研究
杉田 弘毅	米国外交、地政学、中東研究、メディアと国際政治
高山 裕二	デモクラシーの国際比較思想史、政治教育
外池 力	デモクラシー論、人権論、民主化論
西川 伸一	日本の裁判所行政を人事の観点から研究する
比嘉 理麻	米軍基地反対運動と自然環境保護運動に関するアナキズム人類学
樋口 収	社会的判断におけるバイアス
ブルチャー、ミハエルF.	日本近代政治思想と「認識」論、政治概念史と翻訳思想
ペナサリオ、ベルルッキ、アントニオ	先進民主主義国における政治行動の比較
堀金 由美	開発(経済発展)と政治のかかわりを国際比較を通して考えること
水野 剛也	アメリカ・ジャーナリズム史、日系アメリカ人史、漫画と政治家
水戸部 由枝	ドイツ近現代史、セクシュアリティと政治の関係性
宮本 雅也	社会主義論、平等主義的リベラリズムとフェミニズムの架橋

経済学科

氏名	研究テーマ
赤津 正彦	経済と環境との関係を中心とした近代イギリス経済史研究
石山 幸彦	戦後フランス経済史、ヨーロッパ統合史
井上 朋紀	一般均衡理論、協力ゲーム理論
大高 研道	非営利・協同組織の研究、社会的排除問題と社会的企業
大森 正之	環境経済理論の形成と発展、環境政策論
奥山 誠	世界恐慌期の経済政策思想
小野島 真	国際課税および北欧諸国における行財政改革
金子 隆一	人口変動(高齢化等)のライフコース的解明
鎌田 健司	地域人口分析、地域出生力分析、人口移動と結婚・出生行動の分析
倉地 真太郎	北欧諸国における福祉国家財政の形成と変容
小西 淳文	開発経済学、持続可能な開発・環境との調和
小早川 周司	デジタル通貨と貨幣の将来像、デジタル社会における金融インフラ
小林 和司	計量経済学における分析方法
下斗米 秀之	アメリカ経済史における移民および技術移転の研究
末永 啓一郎	開発経済学、経済発展論、キャッチアップ、イノベーション
杉本 隆司	西欧近代の実証主義・産業主義の社会思想
関根 篤史	マクロ金融の時系列分析
高橋 聡	資本主義経済のグローバル化
高橋 信勝	古典派経済学・家事経済学形成史論
武田 巧	制度と制度変化の経済学
田中 茉莉子	国際通貨、金融市場、リカレント教育に関するマクロ経済分析
中島 満大	歴史からみた人口と家族の持続と変容
永原 裕一	時系列解析の研究および金融・証券市場の実証研究
原 ひろみ	日本の労働市場の機能とジェンダー経済格差、労働政策の効果分析
日向 祥子	企業・組織による課題の発見、対応と経済社会の変化
平口 良司	経済成長論
廣松 悟	ポリティカルエコノミーと空間形成、フロンティア空間の政治経済学
星野 泉	少子高齢社会の税財政を国際比較の観点から明らかにする
盛本 圭一	法人税のマクロ経済分析、大災害と資産価格・経済政策
八木 尚志	産業構造変化、所得分配、マクロ経済分析に関する研究

政策学科

氏名	研究テーマ
飯田 泰之	地域経済論・産業経済論とマクロ経済学の融合
牛山 久仁彦	地方分権改革に伴う自治体行政改革の課題と展望
奥山 雅之	地域産業のグローバル化(グローバルビジネス)、地域政策に関する研究
加藤 久和	公共経済・マクロ経済等の実証分析、人口減少時代の財政社会保障
齋藤 雅己	グローバル経済の分析と経済政策
柴田 有祐	産業政策、貿易と経済成長
西村 弥	民営化と「行政の守備範囲」の変動に関する研究、危機管理行政
野澤 千絵	人口減少時代でも持続可能な都市政策・生活圏の再生
藤永 修一	グローバリゼーション、米国の通商政策
宮崎 イキサン	国際貿易金融、国際貿易の決済・資金調達と決済リスクの実証分析
森下 正	ベンチャー・中小企業の経営実態、経営者行動の実証的研究

教養文化系

氏名	研究テーマ
飯嶋 曜子	人文地理学、EU地域政策、地域連携
池田 功	心の病的文化の研究、社会病理研究、石川啄木研究
石山 徳子	政治・人文地理学、地域研究(アメリカ合衆国)
稲葉 肇	科学史、物理学史
植田 麦	古代日本の神話テキストを中心とした文学的・語学的研究
内田 兆史	現代ラテンアメリカ文学、音楽および美術
海野 素夫	トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル
逸藤 直樹	代数学(可換環論)
春日井 淳夫	生活習慣病の予防と運動、スポーツ選手の体力に関する研究
兼子 歩	アメリカ社会文化史、ジェンダー研究
飯屋 浩子	スペイン語圏の文学・演劇史
後藤 光符	スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育
小林 広直	英文学(ジェームズ・ジョイスを中心としたアイルランド文学)
佐久間 寛	経済人類学、アフリカ地域研究、負債論、仏語圏アフリカの文化運動研究
佐々木 菜緒	ケベック文学、フランス語圏文学
佐原 徹哉	ジェノサイドの比較研究、東欧・中東地域研究、紛争研究
柴崎 文一	応用倫理学および環境思想の研究
嶋田 直哉	日本近代文学、日本現代演劇、国語科教育法
ジョージジョニー E.	社会言語学、人類言語学、日本語話談話
高峰 修	体育・スポーツ社会学、ジェンダー研究
武田 和久	ラテンアメリカ史、キリスト教布教史、先住民研究
武田 紘平	運動生理学(分子筋生理学)
田村 久男	ドイツ語圏文学(主に19世紀ドイツ文学)
デヴェェロ、ナヴェリア L.	外国語教育、日本語教育、自律学習、教材開発、学習ストラテジー
富澤 成實	近代日本の文化・文学、志賀直哉の研究
虎岩 直子	イギリス諸島の政治と文化
永川 聡	18世紀末のドイツ文学
中村 幸一	比較言語学・台湾文化
ネルソン、リンジー R.	日本映画、日本文化
羽根 次郎	東アジア近現代史
バスケット、ルアン K.	社会言語学、ゲーム業界の歴史と文化、ゲーム研究
廣部 泉	アメリカの歴史と文化、日米関係
本間 次彦	前近代中国思想、中華ナショナリズムの起源と中国思想史の誕生
前田 更子	フランス近現代史、比較教育社会史
丸川 哲史	東アジア(へ)の思想伝播、社会運動の理論と実践、芸術・文化の形成と翻訳
森本 陽子	Mind, Brain, and Education(神経科学、教育心理学、教育学)の知見と演劇的アプローチを応用した、自律的語学学習法、教授法、プレゼンスキル指導法
山岸 智子	イラン地域研究、イスラームとグローバル化
ヨーク、ジェームズ	教育におけるゲームの導入と活用、ゲーム学習、教育学、ゲーム研究

少人数制で磨く、専門性と研究力

ゼミナールは学生主体の高度な学習・研究の場です。「政治学・社会学」「経済学」「政策学」「国際地域・文化論」の4つのコースに多彩なゼミナールが設けられています。どのゼミナールも担当教員の指導のもと、2年間一貫したテーマで研究に取り組みます。少

加藤 言人 ゼミナール

政治・社会はどのように動いているか
頭の中にある前提を言語化し、自ら検証する

加藤 言人 専任講師

科学的な政治学研究方法論の基礎を学び、実践的な演習をしています。3年次は、オンライン調査実験の手法について学び、グループに分かれて、実際の研究論文をもとにした実験をデザインします。卒業論文では、一人一人が独自の問いをたて、データを探し、統計分析を行います。ゴールは「政治・社会はこう動いている」という頭の中にある前提を言語化し、それに客観的な根拠が伴うかを検証するスキルを身につけることです。このようなスキルは、多様化する現代社会において、自分の価値観に囚われず、客観的な視点を持つために、必ずや役立つはずです。



加藤 言人 PROFILE

カリフォルニア大学デービス校大学院政治学博士課程修了。ナザルバエフ大学政治国際関係学部助教を経て現任。主要担当科目は政治過程論。研究テーマは、世論形成と政治的代表のメカニズムに関する数理・実証的検討。

末永 啓一郎 ゼミナール

発展途上国の現場を調査し、理論・計量分析に
基づいて、チームで政策提言を行う

末永 啓一郎 教授

このゼミでは、発展途上国の現状や施策、開発経済学の理論や計量的手法を学びつつ、3年次は、グループに分かれて海外でのフィールド調査を行いながら、理論・計量分析に基づいて政策提言を行い、ISFJ(日本政策学生会議)などで論文発表・プレゼンを行っています。写真は、ケニアの未電化地域において、JICA(国際協力機構)の電化プロジェクトの評価を行っている時の様子。知識・能力・経験の向上を促すとともに、学士力だけでなく社会人基礎力の育成も図っています。



末永 啓一郎 PROFILE

明治大学大学院政治経済学研究所博士後期課程修了。博士(経済学)。城西大学経済学部准教授等を経て現職。専門分野は経済発展論・開発経済学。主要担当科目は開発経済学。主な研究テーマは、イノベーション、キャッチアップ、貧困。

人数形式で授業を行い、3・4年次継続で履修する専門演習は、担当教員やゼミ履修生同士との距離が近く、お互い切磋琢磨しながら自らの研究に取り組むのも特長のひとつです。

柴田 有祐 ゼミナール

答えを探すのではなく、
自ら考えて判断する

柴田 有祐 専任講師

このゼミでは、経済政策を分析するための理論と数量的な手法について学びます。経済政策には、関税、金融政策、規制、年金制度など様々なものがありますが、経済学の体系的な理論を学ぶと、それらについてすっきりと理解することができるはずです。そこで、まず関連する理論や考え方を学んで経済政策について独力で考えるための下地をつくり、その後、論文を作成するための数量分析の手法を学んでいきます。ゼミの活動を通じて、各種の経済問題について、誰かが提示した答えを探すのではなく、自ら考えて判断・評価できるようになることを目指しています。



柴田 有祐 PROFILE

明治大学政治経済学部卒業、同大学院政治経済学研究所博士前期課程および博士後期課程修了。担当科目は現代経済政策など。最近の研究テーマは、関税や自由貿易協定など貿易・産業政策の経済効果について。

高峰 修 ゼミナール

スポーツという領域に
ジェンダーの視点から切り込む

高峰 修 教授

このゼミでは、3年生のうちにゼミ生による共同研究を行い、毎年、その成果を学内外で報告しています。外部団体が主催するスポーツ政策コンペで自分たちの案を発表したり、学内でポスターを展示したり(写真)、学生向けの啓発パンフレットを作って学内で配布したこともあります。こうした活動を通じて、4年生で執筆する卒業論文の手順や約束事を学ぶこととなります。また学年を超えたタテの人間関係を作り、指導教員からだけでなく先輩からも学ぶ場とするために、3年生と4年生が合同でゼミを行う機会も設けています。



高峰 修 PROFILE

2005年より政治経済学部専任教員として運動学演習(体育実技)や身体文化論、ジェンダー論等を担当。専門は体育・スポーツ社会学、ジェンダー研究。過去20年間に17期164人のゼミ生とゼミナールを行ってきた。

※退職等により変更となる場合があります。

学部教育振興プロジェクト

政治経済学部では、学生が社会に飛び立つうえで必要なスキルを向上させるために、様々なサポートプログラムを用意しています。

政治経済学部は、学費の中に含めて納入された実習料を「学部教育振興費」として位置づけ、多様なプログラムに活用しています。これまでの大学教育では学ぶことができなかったものを各種の



※一部割引料金

政治経済学部だけの
学生サポートプログラム



■学部教育振興プロジェクト
紹介ページ

TOEIC®テスト TOEFL®テスト

対象：1～4年次

政治経済学部では年間複数回、TOEIC®IPテストを主催しており、希望者は無料で受験することができます。成績優秀者は学部長表彰の対象者となるほか、対面形式の試験で一定の条件を満たすと、英語科目への「単位認定」の申請が可能となります。また、英語圏への留学の際に重視される基準の一つであるTOEFL®の団体試験(ITPテスト)も年間2回受験できます。

各種検定試験 受験料助成

対象：1～4年次

ドイツ語検定、フランス語検定、中国語検定、スペイン語検定などの語学検定、またニュース時事能力検定、日経TESTなどのその他外部検定試験について、一定の条件に基づき受験料の助成を行っており、制度を利用することで年間複数回、所定の検定試験を無料で受験することができます。また、所定の語学検定に関しては、成績に応じて各外国語科目への「単位認定」の申請が可能となり、該当する外国語科目の授業の履修が不要となることもあります。

リバティアカデミー講座／ 明大サポート講座 受講料助成 学内3研究所 在籍料助成

対象：1～4年次

「資格試験受験のための実力をつけたい」、「スキルアップを図りたい」などのニーズに応え、本学は、授業以外の多様な講座を用意しています。政治経済学部の学生は、これらの講座のうち学部が指定したものの中から所定の数の講座を無料または割引料金で受講できます。

また、本学が設置する法制研究所、経営研究所、行政研究所について、申請に基づき在籍料の一部を助成しています。

リバティアカデミー講座の一例		
コーチング入門	TOEIC® L&R TEST対策講座	
明大サポート講座の一例(公務員講座)		
公務員入門コース	地方上級・国家一般職コース	教養科目コース

プログラムで補完することにより、学生一人ひとりの「足腰を鍛える」ことが目的です。各プログラムは受講回数に制限がある場合がありますが、無料または割引料金で受講できます。

学部教育振興プロジェクト講座 キャリア育成講座

対象：1～4年次

学生の職業選択サポートの一環として、各分野で活躍中の外部講師を招き講座を開講しています。早くから学生のキャリア形成への意識を高めることがねらいです。

▶国際社会におけるキャリア入門講座

国連機関、政府援助機関、国際NGO、コンサルタントなどで活躍中の講師を招き、「国際社会で働く」ことをテーマに、職種や能力アップ、キャリアアップの方法などについて紹介します。

講義例
開発協力の公的組織と非営利組織
国際社会キャリアのためのリテラシー —ルワンダの歴史から世界が見える？
ジェトロ・ドバイでの業務およびUAEの経済概況について
モンゴルと私
ライフワークとしての国際協力 —アフリカと向き合い続けた30年—

▶起業家養成講座

政治経済学部の卒業生には、起業して成功を収めた方々がたくさんいます。実際に成功を収めている起業家たちに経験談やアドバイスを語っていただきます。

講義例
スモールビジネスで起業する！～創業支援の現場から伝える起業の実態と実践～
老舗企業によるITベンチャー企業の創業と地域産業振興への挑戦： 大学発起業家支援
経営コンサルタントから見た起業家・経営者に求められる資質と役割
大学発ベンチャー創業から今日までの歩みと今後の事業展開
世界に通用する紅茶で創業・まちづくりに貢献する会社づくり

▶キャリア育成講座

1・2年生のうちから自身のキャリアについて考える機会を持ち、そのための基礎的な力や知識を身につけることを目的としています。

就職支援イベント

対象：1～3年次

明治大学では就職キャリア支援センターが中心となって、学生の就職支援を積極的に行っていますが、政治経済学部でも独自に、学生の活動を支援するイベントを実施しています。例年、様々な分野で活躍する本学部卒業生を招いたパネルディスカッションや、会社訪問、面接等の対策に幅広く役立つ講座などを開催し、参加した学生たちが積極的に質問する姿が見られます。卒業生の方などから貴重なお話を聞くことができるとともに、学生自身が就職活動に対する見聞を広げ、意識を高める機会となっています。



過年度の様子

これらの他にもゼミナール活動への助成、留学プログラム参加への助成など多様なプログラムを提供しています。

ウォール・ストリート・ジャーナル(電子版)の購読助成

対象：1～4年次

国際的な影響力を持つ経済・ビジネス日刊新聞であるウォール・ストリート・ジャーナルについて、所定の手続きを行うことで電子版を1年間無料で閲覧できる制度を設置しています。ゼミにおける学習や自習用教材として活用されています。

在学生がつくる新入生向け学部ガイド

「政経の歩き方」

政治経済学部の現役学生が編集した新入生のための「政治経済学部ガイドブック」です。

「政治経済学部での大学生活について、現役の学部生による生きた情報を分かりやすく、親しみやすく伝えたい!」ということをコンセプトに作成しています。



奨学金制度

明治大学では、経済的な理由により修学が困難な学生を支援するための奨学金や、学業成績が優秀な学生を奨励する奨学金など、目的に応じて多様な制度を設けています。

本学の奨学金は、いずれも返還の必要がない給費型の制度であり、学生が安心して学業に専念できる環境を整えています。

また、本学独自の家計急変型奨学金や、国が実施する奨学金制度(高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構)、民間団体・地方公共団体による奨学金など、様々な制度を利用することができます。

各制度の詳細は、明治大学公式ホームページに掲載しています。

詳しくはこちらから



インターンシップ制度

政治経済学部では、学生の現場体験を重視し、インターンシップに必要な知識やスキルの習得を目標とする事前講義や、公共機関におけるインターンシップ・ボランティア活動に関する学部独自の制度を設けています。

実地の場を体感し、学びをさらに深める

大学で学ぶ政治、経済、社会の仕組みが、「現場ではどのように機能しているのか」、「理論と現実との違いは何か」、こうしたことを肌で感じてもらうために、政治経済学部では独自の実習プログラムを用意しています。それは、公共部門などで実習する「地域研究

インターンシップ」(※)、福祉・環境などの現場でボランティア体験をする「社会実習」です。講義で身につけたことを実践・検証することがねらいであり、就職活動における自分の適性について考える機会ともなります。

※2026年度以降、政策学科の所属学生に対しては、「政策研究インターンシップ」として科目を再編し開講予定です。

地域研究インターンシップ

対象：地域行政学科[※]3年次

地域行政学科[※]の学生を対象としたインターンシップです。受入機関は、自治体・公共部門・地域産業などです。事前にビジネスマナー講座を受講し、夏休み期間中に1～2週間の実習を体験します。秋には報告会が開催され、修了者には単位認定がなされます。公務員や議員志望の学生が自らの将来を考える材料になるだけでなく、地域の中で、どのように貢献し、かかわっていけるかという一生の課題にヒントを与えてくれるでしょう。

受入機関（2025年度実績）

東京都	大田区 国分寺市 杉並区 多摩市 千代田区 中野区 東京観光財団
埼玉県	戸田市
千葉県	松戸市
神奈川県	川崎市 相模原市 茅ヶ崎市 横浜市
その他	城南信用金庫

INTERVIEW

地域研究インターンシップ体験談



地域行政学科[※]4年

荒川 七海さん

千葉県立幕張総合高等学校卒業

実習先 島根県美郷町役場 / 北海道
東川町役場

実際に体験したことで職場の雰囲気や仕事のやりがいなど
これからの進路選択に重要な要素を知ることができた

行政が地域の人々や町づくりにどうかかわっているのかを知りたいと考え、参加しました。実習前には大学主催の社会人基礎講座が実施され、手厚いサポートのもとで安心して参加することができました。インターン先には、親族が役場に勤務していて幼少期から馴染みがある美郷町と、地方での人口減少が問題化する中で人口が増加する成功例を持つ東川町を選択。実習で特に印象深かったの

は、住民自らが当事者意識を持って町づくりにかかわっている姿です。行政だけの力だけでなく、住民と連携して町づくりを進めることの重要性を実感しました。行政の仕事は成果が目に見えにくいものの、住民の笑顔を近くで感じられることに魅力ややりがいがあると考えます。この実習を通じて学び、体験できたことを今後の進路選択に役立てていきたいです。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始しました。

社会実習

対象：全学科1～4年次

政治経済学部が認定する機関（公共部門、民間部門、NPOなど）における所定のボランティア活動について、学部が定める一定の条件を満たし、認定を受けることで、単位認定がなされます。

自主的・主体的に行う活動を通して各々が視野を広げ、大学卒業後に企業社会のみならず地域社会でも貢献できるスキルを身につけることをねらいとしています。

主な活動先団体

- 環境分野
（NPO法人、NGO、教育委員会 など）
- 福祉・医療・保健分野
（NPO法人、ボランティア団体、福祉施設 など）
- 教育・文化・スポーツ分野
（NPO法人、ボランティア団体、児童館 など）

大学院 政治経済学研究科

学問をさらに究める学びの場

大学は最高学府と言われますが、今や、大学卒業後、もっと学びたい、もっと深く知りたいと考える人が増えています。より専門的な知識を身につけたい、学問を究めたいというニーズに対応するために、大学卒業後の学びの場として「大学院」が設けられています。大学院には大学の学部と同様、学問領域ごとに「研究科」があります。政治経済学部の学びを土台として、政治や経済の研究を深め、学識を高めることを目的として設置されているのが、「政治経済学研究科」です。研究科には政治学と経済学の2専攻があり、それぞれの学問領域の理論・歴史・政策を学ぶことができます。政治学専攻に社会学関係の科目が多数設置され

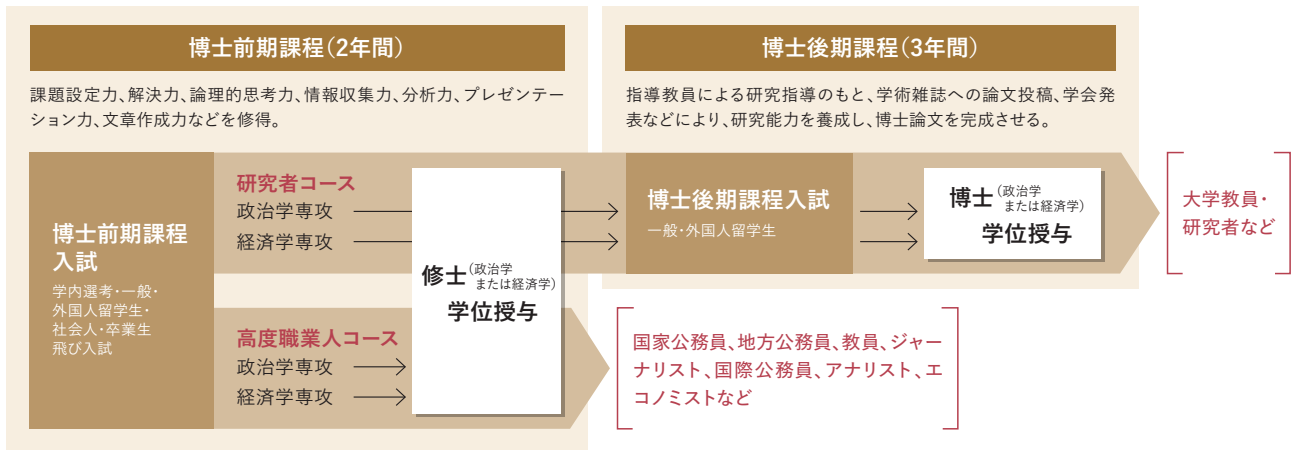
大学院
政治経済学研究科長
鍾家新 教授



ていることは、本研究科の特色でもあります。また、政治学および経済学のいくつかの科目では英語による授業も行われています。

大学院の課程は、「博士前期課程」と「博士後期課程」に分かれています。学部卒業後に入学する前期課程の標準修業年限は2年で、この課程を修了すると「修士」の学位が授与されます。前期課程を修了したのちに、さらに高度な研究を行いたいと望む人たちが進学するのが後期課程で、その標準修業年限は3年です。博士後期課程で研究成果をまとめた博士學位請求論文を提出し、審査に合格すると「博士」の学位が授与されます。

■大学院政治経済学研究科の進路モデル



STUDENT VOICE



政治経済学研究科 経済学専攻
博士前期課程1年
小笠原 裕太さん
埼玉県立川越高等学校卒業

経済を新たな視点で捉え、 学問の発展に挑む

目には見えない経済の動きに対して不思議を感じたことをきっかけに経済学専攻を志望。1つ1つの理論や定理がなぜ成立するのか、どのような前提条件の下で考えられているのか。学部時代には、こうした理論や定理についてじっくり考える力を身につけました。これらの力は、博士前期課程でのより専門的な学習・研究においても必要とされる力であり、日頃の学習や論文執筆で幅広く活かされています。



印象に残っているのは、夏休みに国内学会に加え国際学会でも発表したことです。国際学会では、英語での発表や質疑応答を通して英語力が向上。論文執筆の過程では、読解力や表現力を高めながら、学術的なテーマに向き合い、自身の学術的貢献を生み出し表現する力が深まったと思います。

新たな経済の見方や議論を提示するような論文を投稿し、学術の発展に貢献することが現在の目標です。

大学院進学を サポートする 奨学金制度

日本学生支援機構による奨学金制度だけではなく、成績優秀者に対しては、明治大学独自の制度として、研究奨励奨学金と、学内選考入試で研究者コースに進学した学生を対象とする内部進学者奨励奨学金があります。両奨学金は授業料半額分が給付され、ともに採用された場合は、授業料全額を奨学金で賄うことが可能となります。

キャリア形成サポート

政治経済学部ではマスコミをはじめ、多様なメディア職種を志望する学生のキャリア形成をサポートする機関を設けています。また、大学が設置する公務員志望者をサポートする機関についても大きくバックアップしています。これらの機関に所属することにより、きめ細かなカリキュラムで実践的な指導を受けられます。

メディア表現ラボ(旧基礎マスコミ研究室)

—多様なメディア職種を目指す学生を指導—

政治経済学部では、ジャーナリストを目指す学生のキャリア形成サポート機関として設置してきた「基礎マスコミ研究室」について、2023年度からカリキュラムを改変し、併せて名称を「メディア表現ラボ」に変更しました。従来のマスコミ業界志望者だけにとどまらず、より幅広いメディア業界やメディア関連職種を目指す学生を対象として指導を行っています。様々なメディアを用いた表現技法の基礎をトレーニングするカリキュラムを用意しています。熱意ある学生なら、どの学部からでも入室を歓迎します。また、基礎マスコミ研究室に引き続き、学生が主体となって行う各種活動を通して、室員相互の自己研鑽を行う場ともなっています。



メディア表現ラボ室長
植田 麦 教授

(2025年度/1～4年生)		
在籍者数	政治経済学部	55
	その他学部・大学院	147
計		202

募集人員 1年生▶約50名
入室試験 有(詳細は別途案内)
室費 大学が提供する各種講義の講義料は無料です。学生が行う班活動等について、個人負担がかかる場合があります。

■カリキュラム

●和泉キャンパス

基礎的な文章表現、映像表現、口頭プレゼンテーションなどを総合的に学ぶカリキュラムを展開します。

●駿河台キャンパス

特にマスコミを志望する学生を対象として「マスコミ就活講座」を開講し、学生への個別ガイダンスも行います。また、学外ゲストを招いた講演会など、全学年が参加できる催しも適宜行う予定です。

主なメディア業界等への就職実績(一部抜粋)

※就職実績は「基礎マスコミ研究室」在籍者のデータを含み、一部を掲載しています。

日本放送協会、東海テレビ、共同通信社、毎日新聞社、下野新聞社、報知新聞社、サイバーエージェント、デジタルアドバタイジングコンソーシアム など

INTERVIEW

入室者体験談(旧基礎マスコミ研究室在籍)



経済学科3年
岩瀬 聖さん

茨城県立下妻第一高等学校卒業

学んだ知識と培った力を自信に、感動を生み出せる人へ

メディア表現ラボでは1・2年次でプレゼンの仕方や動画編集について、3・4年次ではESの書き方や自己PRの方法を学べます。現役で働くメディア業界の方から直接お話を伺えるだけでなく、ESを添削してもらえらる機会もあり、自信を持って企業に提出できます。

このラボでは講演会の企画や座談会の開催・運営も経験。講師のアポ取りや日程調整、参加者への案内など、企画から運営まであらゆる工程を自分たち

で企画進行することで統率力や行動力、発信力に加えチームワークも養われたと思います。就職活動や今後の社会人生活でも必ず活かせる力です。

ここで身につけた力を、将来メディア関係の仕事に就いた際に、チームでの企画・制作や情報発信の場面で活かしたいと考えています。今後は、日々を明るくする広告を作り、見る人に感動や興奮を届けたいです。

資格取得

在学中に所定の科目を履修することで、以下の資格の免許状および基礎資格を取得できます。

教職課程

中学校または高等学校の教員を志望する者のために、本学には教職課程が設置されています。政治経済学部の教職課程では、右記の教員免許状を取得することができます。

[本学部で教員免許状を取得可能な教科]

学科	中学校教諭	高等学校教諭
政治学科	社会	地理歴史 公民
経済学科		
政策学科		

学芸員養成課程

本学の学芸員養成課程では、「学芸員」の資格を取得することができます。学芸員とは、歴史、芸術、自然科学などの博物館で働く専門職で、その主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・保存・展示、利用者への説明やアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯教育、博物館の運営など、博物館業務の全般をこなします。

国家試験指導センター

本学には国家試験指導センターがあり、法曹・公認会計士・公務員への挑戦を強力にサポートする、「法制研究所」「経理研究所」「行政研究所」の3研究所が設けられています。裁判官、検察官、弁護士等の法律家として法曹界での活躍を目指すなら「法制研究所」。公認会計士試験にかかわる受験指導なら「経理研究所」。そして、国の政策立案に携わる国家公務員総合職を目指すなら「行政研究所」に所属することを検討してみてください。授業との両立にも配慮されており、難関資格の取得ならびに職業能力の向上を志す学生を、明治大学ならではのスタイルで支援しています。なお、入室するためには試験があり、学費とは別に費用もかかります。

行政研究所

1957(昭和32)年、弓家七郎教授(当時政治経済学部長)によって明治大学行政研究所は設立され、70年の伝統を誇ります。「一人でも多く国家公務員総合職試験の最終合格者を輩出すること」を目標に掲げ、公務員試験指導機関として活動しています。毎年度4月に1年生と2年生を対象とした入室試験を行い、国家公務員総合職試験合格・内定のために、受験指導のプロと卒業生・上級生による指導が行われます。最難関試験である総合職を目指して、1年生から指導を行います。3年生になると一人ひとりの固定の自習席が割り振られ、専門科目を中心とした指導が実施されます。



行政研究所長
西川 伸一 教授

(2025年度/1～4年生)	
在籍者数	政治経済学部 104
	その他学部 163
計	267

募集人員	1年生▶約100名／2年生▶約100名 3年生▶国家公務員総合職試験 志望者に限り若干名
入室試験	筆記試験、面接
室費	1年生・2年生・4年生 66,000円／ 3年生 132,000円(年間) ※別途入室登録料5,500円がかかります。

カリキュラム

●和泉キャンパス

政治学、憲法、民法、行政法、経済学、数的処理、文章理解
※上記のほかに、卒業生や外部講師を招いて、講演会や懇談会を適宜開催します。

●駿河台キャンパス

法律系区分、経済系区分、行政区分系科目、数的処理、教養知能
※上記のほかに、面接指導および個別試験に合わせた直前対策を行います。3年生には夏期休暇中も週5日程度の講義が実施されます。

行政研究所 ▶ 公務員試験合格実績

2025年度(2026年度採用) 合格実績

【国家公務員総合職】最終合格者:6名(政治国際人文区分6名)

内定先:財務省、厚生労働省、文部科学省、人事院 など

【国家公務員一般職】特許庁、公正取引委員会、会計検査院 など

【国家公務員】東京国税局、衆議院事務局 など

【地方公務員】東京都、特別区 など

INTERVIEW

入所者体験談



地域行政学科*4年
坂口 未羽さん

神奈川県立横須賀高等学校卒業
就職内定先▶財務省財務局

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始しました。

同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、 政策課題を議論し尽くした濃密な日々

公務員を志望するにあたり、準備の進め方に悩んでいた中で、行政研究所の体系的な対策講座とOB・OGとのつながりに魅力を感じ入所しました。

なかでも印象に残っているのは官庁訪問前の対策です。朝から晩まで仲間と各省庁の政策課題について議論を重ね、先生方の助言を受けながら自身の考えを磨き上げていきました。

この経験を通じて身につけた多面的な視点や考

えを言語化し発信する力は、現在取り組んでいる卒業論文の執筆にも大きく活かされています。

卒業後は国家総合職として財務省に入省予定です。行政研究所で培った「粘り強く考え、伝える力」を武器に、複雑な社会課題に向き合い、的確な解決へ導ける公務員として社会に貢献していきたいと考えています。

社会教育主事課程

本学の社会教育主事課程では、「社会教育士」の称号を取得することができます。また、社会教育主事課程修了後、1年以上、社会教育主事補等の職にあった者に社会教育主事になる資格が生じます。社会教育主事とは、地域住民の多様な学習・文化活動を側面から援助することを目的とした社会教育行政の職員として、主として都道府県と市区町村の教育委員会に配属されている教育の専門職のことで

司書課程・司書教諭課程

所定の科目を履修することで、「司書」「司書教諭」の資格を取得することができます。司書とは主として都道府県立や市区町村立の公共図書館で、資料の収集・分類・整理・貸出や返却業務、図書館資料に関するレファレンスサービスなどを行う専門職のことで、司書教諭とは、図書館資料の収集・提供・管理、生徒児童の読書指導や自発的な学習のサポートを行う学校図書館の専門的職務をつかさどる教諭のことで

【政治経済学部の学生が目指す資格・採用試験】

国家公務員採用総合職・一般職試験	防衛省専門職員採用試験	税理士
労働基準監督官採用試験	衆議院事務局職員採用試験(総合職・一般職)	弁理士
国税専門官採用試験	参議院事務局職員採用試験(総合職)	中小企業診断士
外務省専門職員採用試験	公認会計士	社会保険労務士

政治経済学部卒業生からのメッセージ

大学を卒業したらどんなキャリアを築くか。

明治大学政治経済学部で学び、現在、社会で輝く卒業生からのメッセージを参考に自分の未来図を描いてみましょう。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始しました。



好奇心を武器に、
地域に感動を届ける存在に

2024年2月 ヤマハ発動機株式会社中途入社
技術・研究本部
共創・新ビジネス開発部LSM事業推進グループ所属

青木 晃胤さん

政治学科2021年卒業

千葉県私立八千代松陰高等学校卒業



ビジネスの世界でも学びは続く。
小さな興味・関心を大切に

2021年4月 住友商事株式会社入社
(米州派遣中)
リスクマネジメント総括部所属

藤森 友寛さん

政治学科2021年卒業

愛知県立一宮西高等学校卒業



大学時代の経験は
人生を豊かにする財産

2021年4月 独立行政法人都市再生機構入社
東北震災復興支援本部 福島復興支援部
地域再生課所属

島田 優一さん

地域行政学科*2021年卒業

神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業

持続可能な地域の移動支援として、時速20km未満の低速小型EV「グリーンスローモビリティ」の事業企画に取り組んでいます。現在は自治体や大学、企業と協業しながら、地域課題を解決できるビジネスモデル構築に挑戦中。単純な課題解決に留まらず、「移動」を通して人と人、人と地域を繋げ、新たな感動や楽しさを届けることを目指しています。在学中は憲法や経済、歴史、心理学など幅広く学び、一つの社会現象を多面的に理解・分析する力を養うことに注力しました。特に、行政の意思決定や合意形成の仕組みを学んだ経験は、現在のB2G(Business to Government)ビジネスの企画検討や案件進行に非常に役立っています。先生方や先輩から、自分の知らない多くの問いが与えられる環境は、政治経済学部の大きな魅力。そんな新たな発見の連続が社会に出てからも続く好奇心の源泉となり、自分自身でキャリアを切り拓く力を養ってくれます。ぜひ、政治経済学部で自身の好奇心を探求し、行動してみてください。皆さんの大学生活が充実したものとなるように心から応援しています。

現在は米国に駐在し、出向先の会社業績や各種データの分析を行いながら、事業計画や中長期戦略の立案、投資案件における収益性の検証等、経営判断を支える仕事をしています。大学在籍時は、1年次で参加したインドネシア留学をきっかけに東南アジアについて学びたいと思い、3年次には「内閣府東南アジア青年の船事業」に参加するなど、興味をことごとく突き詰めました。所属のゼミでは、教授やゼミ生とともに東南アジア各国の歴史、文化、政治体制などについて深く掘り下げ、濃密な議論を繰り返し、英語力を向上させることができた他、多様なバックグラウンドを持つ人々を理解する土台になりました。また、学生時代、小さな興味を大切にすることは意識しており、上述したゼミや必修科目以外にも様々な授業を履修していました。卒業した今、改めて大学生活を振り返ると、当時の小さな興味・関心が今の自分につながっている気がします。

将来の選択肢・可能性を広げるべく、政治経済学部での4年間を全力で駆け抜けられるよう頑張ってください！

現在は本社人事部でダイバーシティ推進を担っていますが、昨年度までは福島県大熊町の復興まちづくり支援業務を担当していました。原子力災害により町内人口が一時「ゼロ」となった大熊町。町民の帰還促進やコミュニティ再生が課題のなか、私は地域施設の運営を通じて地域の方々との対話や活動を重ね、復興に携わりました。この困難な課題に向き合う際、支えとなったのが大学での学びです。所属した廣松ゼミにおいて、都市構造について世界的な潮流というマクロな視点と、地域研究を通じたミクロな視点の両面から学んだことが、まちづくりを志す原点となりました。さらに地域滞在型インターンシップで得た、まちの魅力と課題を捉え、課題解決に向けて思考した実践的な経験は、自身の業務に大きく役立ちました。多様な活動を通じて得た学内外の仲間や、自らの可能性を広げられた大学での経験は、私にとってかけがえのない財産です。単に社会に出るための準備期間としてではなく、自分の人生を豊かにする時間にしてくれた大学での日々に、心から感謝しています。



仲間と協力し合った経験を、
安全な運航業務に活かす

2024年4月 日本航空株式会社入社
JALスカイエアポート沖縄株式会社に出向

志内 高虎さん
地域行政学科*2024年卒業
東京都立国際高等学校卒業

運航乗務員訓練生として採用され、現在はJALスカイエアポート沖縄株式会社に出向し、那覇空港でグランドスタッフとして勤務しています。業務内容はお客さまのチェックイン業務や荷物のお預かり、搭乗のお手伝いなどです。飛行機は多くの人がかかわり協力し合うことで初めて安全に運航することができるため、その一端を担えていることにやりがいを感じています。地域行政学科*では体験型の授業が豊富で、様々な分野で働く方々のお話を聞いたり、実際に現場へ足を運ぶ機会が多くあり、視野を広げることができました。また、ゼミや学生委員会で同期の仲間や先輩・後輩と協力するためにコミュニケーションを取る中で、伝えたいことを的確に相手に伝えるスキルが培われました。こうした学びは、多くの職員と協力して安全に飛行機を運航する現在の業務に活かされていると感じています。地上研修中の現在は、多くのお客さまと接する中でニーズや想いを理解し、お客さまの視点に立ったフライトができるパイロットを目指したいと考えています。



関心事に取り組める環境。
積極的に行動を！

2019年4月 京王電鉄株式会社入社
経営統括本部経営企画部所属

古木 富久美さん
政治学科2019年卒業
鹿児島県立鶴丸高等学校卒業

当社グループ全体の経営計画の策定や中長期的な事業の方向性の検討などを行っています。多くの人とコミュニケーションを取りながら、会社の将来を左右するような経営課題に取り組めることにやりがいを感じています。在学中は、英語学習や国際交流に力を入れていました。様々なプログラムが用意されているACEは、自分が伸ばしたい部分にフォーカスできる点や同じ志を持ったクラスメイトと学びを深められる点がとても面白く、毎期履修していました。また、2年次には学部制度を利用してカリフォルニア大学アーバイン校へ留学し、帰国後も、大学内の留学や国際交流を支援・促進する活動を行いました。これらの経験において、目の前の課題に対して「自分はどう思うのか」ということを考える場面が多く、通説や前例を参考にしながらも、自分の意見を持つことを習慣づけられました。今の仕事にも活かしている大きな学びの一つです。本学には様々な機会や選択肢があり、自分の興味関心のあることにどんどん取り組める環境にあるので、ぜひ積極的に行動していただきたいと思っています。



先輩の積極的な姿勢に
刺激を受けて

2021年4月 株式会社NTTデータ入社
第三公共事業本部 デジタルソサエティ事業部所属

鈴木 里奈さん
地域行政学科*2021年卒業
東京都私立三輪田学園高等学校卒業

行政職員の方や国民の皆さんが使用されるシステムの開発をしています。場合によってはニュースにもなりうる仕事。社会的影響力の大きさや貢献度の高さを感じます。大学時代に私が所属していた木寺ゼミは、地域創生を目的とした政策を立案してプレゼンテーションを行ったりと、地域のイベントを手掛けたりと、実践が中心。実際に行政機関を訪問し、ヒアリングを行った経験が、現在の地域創生に携わる職場に就くきっかけとなりました。グループワークの経験で得た「意見を肯定する姿勢」や「自身が貢献できることを考える力」が身につく、チーム内での雰囲気づくり、まわりを否定しない姿勢や自身がどのようにチームに貢献できるかを考える力は職場でも役立っています。それぞれのコミュニティで意欲ある先輩・同期・後輩がいるところも魅力で、特に専門演習やゼミ活動でのまわりのメンバーの、積極的に取り組む姿勢には刺激を受けることが多かったと感じます。幅広い経験の中で自身が将来何をしたいのか、具体的に考えられる機会をぜひ活かしてください。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始しました。



学びのヒントを届け、
学生の可能性を広げる仕事

2021年4月 学校法人東京歯科大学入職
大学事務部教務課所属

杉本 亜衣梨さん
地域行政学科[※]2021年卒業
東京都私立広尾学園高等学校卒業

大学の教務課に所属し、日々の授業や試験の運営サポート、入試業務などを担当。幅広い業務を通じ、入学から卒業まで学生を支えられることにやりがいを感じています。学生時代に所属したゼミでは、全員で一つのテーマに取り組み、共同論文を執筆しました。仲間とともに同じゴールを目指した経験は、多職種との連携が欠かせない現在の仕事でも役立っています。他にも、日々の学習を通して、物事を様々な角度から考え、小さな気づきから大きな課題を見つける力も身に付きました。私にとって大学は、物事を深掘りするヒントを与えてくれる場所でした。今度は自分が、「ここで学べてよかった」と思える環境を学生に提供することが目標です。興味のあることに自由に挑戦できる点が、政治経済学部の大きな魅力。今だけでなく、将来の自分を豊かにする学びをぜひ見つけてください。



常に問題意識を持ち、
考え、行動する

2020年4月 東京海上日動火災保険株式会社入社
火災・企業新種保険業務部
企業新種保険グループ所属

伊藤 美紅さん
経済学科2020年卒業
東京都私立明治大学付属明治高等学校卒業

企業向けの損害保険の商品開発や、オーダーメイドの条件で引受業務を行う部署で、企業新種保険のアンダーライティングを担当しています。アンダーライティングとは、保険の対象となるリスクを見極め、引受可能な補償条件や保険料率を決定するまでの一連の業務を指します。お客様の「いざ」をお守りする保険商品の提供を通じて、社会課題の解決や、個人や企業の挑戦を支える一助となる業務にやりがいを感じています。在学中は、財政政策について学び、鳥しょ部における医療体制や財政について研究していました。座学のみならず実際に現地へ足を運び、直接お話を伺いに行ってみたり、学外活動に力を入れてみたり、興味関心を持ったことに取り組みめるからこそ、自ら考え、行動する習慣が身につきました。正解が存在しない業務に従事するなかで、常に問題意識を持ち、考え、行動することが求められるいま、大学生生活で培った習慣や経験が役に立っていると感じます。商品開発の専門性を高め、グローバルな舞台上で通用するアンダーライターとなるのが現在の私の目標です。



金融の現場で学びを活かし、
未来を切り拓く

2022年4月 三菱UFJ信託銀行株式会社入社
名古屋支店所属

柴田 広大さん
経済学科2022年卒業
茨城県立土浦第一高等学校卒業

名古屋支店で主に来店されたお客さまを担当するテラー（窓口）業務を行っています。NISAなどの資産運用や相続、不動産に関する相談を受け、お客さま一人ひとりに合ったソリューションをご提案します。インフレや高齢化の進展に伴い、お客さまの悩みは多様化しています。その分、三菱UFJ信託銀行が提供できる選択肢の幅広さを活かし、解決策を見出す瞬間にやりがいを感じています。

大学時代、特に印象に残っているのは小早川ゼミでの活動です。「貨幣や金融・決済サービスのあり方」をテーマに研究を行いました。こうした学びが、現在の金融への興味を育んだと感じています。ゼミで培った「現状と原因を分析する力」は、お客さまの属性や悩みを丁寧に分析し、潜在的な課題を見極めた上で最適な提案を行う今の仕事にも役立っています。

経済学科での学びは、多様な視点を養い、自分の可能性を広げる機会に満ちています。一生の財産となるような経験が待っているこの学科で、ぜひとも学びを深めてください！

政治経済学部生の1日

政治経済学部生のリアルな学生生活を、2人の学生の1日に密着して紹介。ひとり暮らしの学生と自宅通学の学生、それぞれの視点から、授業や課外活動、日常の過ごし方をタイムスケジュールとともに紹介します。将来、政治経済学部で学ぶ自分の姿を具体的にイメージしてみましょう。

ひとり暮らしの場合



初めてのひとり暮らし。
健康にも注意しながら
充実した大学生生活を

政治学科2年
青島 広晟さん

静岡県
浜松市立高等学校卒業

政治学を学べる大学が地元になく、中学時代から首都圏でひとり暮らしをすることを考えていました。生活費の足しにするためアルバイトをしたり、洗濯や掃除などの家事をこなしたりと、思ったよりもやらなければいけないことが多く、初めてのひとり暮らしに戸惑うこともあります。自由に使える時間やお金も増え、毎日充実しています。

大学1年時は、授業数が多く毎日大学に通っていました。3、4限で授業が終わる曜日は大学から直接アルバイト先に向かいます。休日は、趣味の楽器演奏をしたり、友達と会ったりして自由な時間を満喫しています。ひとり暮らしをする中で、意識するようになったのは金銭面と栄養バランス。自分の好きなことにお金を使えるよう、高校生の時よりも気をつけるようになりました。また、食事は栄養バランスを考慮し、できるだけ自炊をするよう心がけています。健康にも気をつけつつ、楽しくキャンパスライフを過ごしたいと考えています。

ある日のスケジュール

- 7:40 起床**
コーヒーを飲んで目を覚まします。
- 8:30 通学**
時間を逆算して支度を済ませ、最寄り駅へ向かいます。
- 9:00 1限**
明大前駅に到着。1限の教室に向かいます。
- 12:30 昼食**
前の授業で一緒だった友達と食堂でランチ。カレーやパンをよく選びます。
- 13:30 3限**
体育の場合は早めに移動して授業の準備をしています。
- 17:00 移動**
授業を終え、アルバイト先へ移動。テスト前の時期は、図書館で勉強をしています。
- 18:00 アルバイト**
おもにレジ打ちを担当しています。
- 23:30 帰宅**
帰宅して、ゴミ出し、入浴を済ませます。夜食をとることも。
- 25:00 就寝**
時間に余裕があるときは、地元の友達と電話をすることもあります。



1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	130,000円
アルバイト	79,000円
ポイ活	1,000円
合計	210,000円
支出	
家賃	75,000円
食費	20,000円
光熱費	8,000円
通信費	2,000円
交際費(交通費込み)	35,000円
日用品	25,000円
その他	20,000円
貯金	25,000円
合計	210,000円

自宅から通学の場合



家族のサポートが、
充実した大学生活を
支えています

政治学科2年
松本 由奈さん

埼玉県立不動岡高等学校卒業

私が自宅から大学に通うメリットとして感じるのは、家族と一緒に過ごせる安心感です。家に帰ると家族がいて、何気ない会話やちょっとした相談ができることが心の支えになっています。また、家事を家族に手伝ってもらえるおかげで、課題やアルバイトで遅くなった日も、帰宅後すぐに食事を取って休むことができ、とても助かっています。一方で、片道2時間の通学時間は大変な部分もありますが、外国語や小テストの勉強時間として有効に活用しています。1限目の授業が多いため、早寝を心がけて生活リズムを整えるようにしています。授業後は学校で課題を済ませたり、友達と話したりしながら過ごした後、アルバイトやサークル活動に取り組んでいます。自宅から大学へ通う安心感のもと、充実した大学生活を送ることができていると感じています。

ある日のスケジュール

- 6:00 起床**
寝坊しないように目覚ましを2つ使っています。
- 7:00 通学**
隙間時間に中国語の小テストの勉強をします。
- 9:00 授業**
道が混むので、少し早めに行くことを心がけています。
- 12:30 昼食**
3限がある日はお弁当を持参しています。2限終わりの日は友達とご飯を食べに行くことも。
- 14:00 課題に取り組む**
バイトの時間まで、授業の課題を進めたり、友達と会話したりします。
- 16:00 アルバイト**
飲食店で働いています。接客を行うため、笑顔を大切にしています。
- 22:30 帰宅**
帰宅後は夕食を取ります。ドラマを観ることも。
- 23:30 翌日の支度**
持ち物確認や、次の日の服装を決め、残っている課題にも取り組みます。
- 25:00 就寝**
寝る支度を済ませ、目覚ましをセットし就寝。



1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	0円
アルバイト	90,000円
合計	90,000円
支出	
家賃	0円
食費	10,000円
光熱費	0円
通信費	0円
交際費(交通費込み)	30,000円
貯金	20,000円
美容	20,000円
衣類	10,000円
合計	90,000円

入試情報

一般選抜(学部別・全学部統一・大学入学共通テスト利用入試)は、すべてWeb出願です。

パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。一般選抜要項は、明治大学ホームページからダウンロードできます(11月上旬公開予定)ので、出願前に必ずご確認ください。

※総合型選抜、学校推薦型選抜、その他の入学試験では、Web出願を行いません(外国人留学生入学試験を除く)。

■学部別入学試験

学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
政治学科	105名	1月7日(木) } 1月21日(木)	2月11日(木)	2月18日(木)	3月4日(木)
経済学科	270名				
政策学科	80名				

※内容については一般選抜要項で必ず確認してください。

試験科目		
10:00~11:00	12:00~13:00	14:20~15:20
外国語(配点150点) 「英語」(英語コミュニケーションⅠ~Ⅲ、論理・表現Ⅰ~Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	国語(配点100点) 「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	地理歴史、公民、数学(配点100点) 「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ~Ⅱ、数学A「図形の性質、場合の数と確率」、数学B「数列、統計的な推測」、数学C「ベクトル」)から1科目選択
合計(3科目) 350点		

■全学部統一入学試験

学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
政治学科	20名	1月7日(木) } 1月18日(月)	2月5日(金)	2月14日(日)	3月4日(木)
経済学科	45名				
政策学科	20名				

※内容については一般選抜要項で必ず確認してください。※試験会場：東京(駿河台・和泉・中野キャンパス)、神奈川(生田キャンパス)、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡

試験科目			
9:30~10:30	11:30~12:30	13:50~14:50	15:50~16:50
外国語(配点150点) 「英語」(英語コミュニケーションⅠ~Ⅲ、論理・表現Ⅰ~Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 ※配点100点を150点に換算する。	国語、数学(配点100点) 「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く。「数学(数学Ⅲ)」、「数学Ⅰ~Ⅲ、数学A、数学B」、「数列、統計的な推測」、数学C「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」)から1科目選択	地理歴史、公民、理科(配点100点) 「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「物理」(物理基礎、物理)、「化学」(化学基礎、化学)、「生物」(生物基礎、生物)から1科目選択	数学(配点100点) 「数学」(数学Ⅰ~Ⅱ、数学A、数学B「数列、統計的な推測」、数学C「ベクトル」)
合計(3科目) 350点			

■大学入学共通テスト利用入学試験

前期日程	方式	学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日 (大学入学共通テスト)	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
	3科目方式	政治学科 経済学科	8名 15名	1月7日(木) } 1月15日(金)	1月16日(土)、 1月17日(日)	2月14日(日)	3月4日(木)
7科目方式	政治学科 経済学科 政策学科	15名 45名 12名	3月11日(木)				

利用する教科・科目(3科目方式)

国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』から1科目 大学入学共通テストの配点200点を300点に換算する。『英語』はリーディング100点、リスニング100点の合計200点を300点に換算する。	300点
●下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
合計(3科目)		700点

利用する教科・科目(7科目方式)

国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』から1科目 『英語』はリーディング100点、リスニング100点とする。	200点
数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100点 100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 2科目を受験した場合には、第1解答科目の成績を合否判定利用の対象とする。第2解答科目の成績は合否判定に利用しない。	100点
●下記の科目のうちから2科目を選択。同一教科内について、2科目の利用も可。高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	200点 (100点×2)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	
情報	『情報Ⅰ』	
合計(7科目)		900点

■政治経済学部の特別入学試験

一般選抜のほかに次の「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」を実施しています。

- ①グローバル型特別入学試験
- ②指定校推薦入学試験
- ③外国人留学生入学試験
- ④スポーツ特別入学試験
- ⑤付属高校からの推薦入学試験

グローバル型特別入学試験

[グローバル型特別入学試験とは]

政治経済学部では、国際社会の様々な分野で先導的な役割を果たしうる人材を育成するため、広く国内外の受験生を対象としたグローバル型特別入学試験を実施します。

本学部はこれまでに、夏休みや春休みを利用した短期留学プログラムや半年・一年間の協定校留学、さらにはダブルディグリープログラム(明治大学と海外の大学で、2つの学士号を取得)など、学生のこれまでの経験と将来の希望に基づいた多様なニーズに対応すべく、様々な留学プログラムを展開してきました。これに加えて2022年度からは、国内にあって高度な実践的語学力を強化し、教養や国際的感覚などをさらに磨いた上で専門知識をも身につけた高度なグローバル人材を養成するためのグローバルキャリア形成(GCD)プログラムを設置し、将来グローバル社会で活躍することを目指す学生の学びと経験を強力に後押しすることとしました。

このグローバル型特別入学試験は、そうしたプログラムを通して国際社会のリーダーとして活躍しうる人材を育成するために、すでに高度な語学力と高い意識、柔軟な思考力を有する学生を広く募集するために実施するものです。

[グローバル型特別入学試験日程]

出願期間

2026年9月1日(火)～9月3日(木)

試験実施日

2026年10月3日(土)

合格発表日

2026年11月4日(水)

特別入試の詳細は、政治経済学部事務室へお問い合わせください。

INTERVIEW

学部別入学試験 合格体験記



経済学科3年
筧 さとみさん

北海道私立藤女子高等学校卒業

受験期もしっかりと睡眠をとり、すきま時間を利用して効率よく勉強

中学生の頃からニュースを見たり、公民の勉強をしたりする中で経済学に興味を持ち、大学で学びたいと思うように。同時に英語力を伸ばしたいという気持ちもあり、英語教育が充実している明治大学政治経済学部を受験しました。私が受験した学部別入学試験は、基本的な問題が多く対策がしやすい一方で、ケアレスミスに注意しながら問題を解く必要が

ありました。受験期にはあまり夜更かしをせず、12時までには就寝。授業の休み時間や電車に乗っているときに英単語を覚えるなど、すきま時間を利用して効率よく勉強を進めました。現在は、経済学はもちろん、TOEIC®などの英語の学びにも力を入れており、学びたいことを思いきり学べる環境だと感じています。

INTERVIEW

全学部統一入学試験 合格体験記



経済学科1年
小野 心寧さん

宮城県仙台第一高等学校卒業

マークシート試験で差をつける、考え方と計算過程を残す勉強法

高校では理系を選択していましたが、経済への関心から、理系科目で受験可能な政治経済学部を志望。明治大学の魅力は、学部独自の教育・キャリア支援の充実に加え、全国8都市で実施される全学部統一入学試験制度により、地元・仙台で受験できる点でした。試験はマークシート方式ですが、正解に似せた不正解が多く、憶測では合格できません。受験勉

強では、問題の考え方や計算過程を必ず手元に書き留め、見直し、理解することで合格につながりました。現在は、資格取得に向けた勉強を進めています。学内で同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨できる環境も大きな支えとなっており、政治経済学部を選んでよかったと感じています。

INTERVIEW

グローバル型特別入学試験 合格体験記



経済学科2年
松永 毅さん

神奈川県立横浜栄高等学校卒業

言語能力や多角的視点が活かせる入試方式で自分の強みを存分に発揮

中国語が母語の環境で、小学校で英語、中学校で日本語を学んできた私にとって、グローバル型特別入試は、自分の強みである言語能力や多角的な視点を小論文や面接で活かせると考えたため、受験を決めました。受験勉強では、英語の新聞や文章を積極的に読んだり、ChatGPTを活用して英語のライティングを練習したり、時事ニュースや社会問題

について原因から結果までの流れを分析し、論理的思考力を鍛えました。私が政治経済学部を選ぶきっかけになった学部独自の英語による「ACE」の授業やGCDプログラムなど、専門科目を学びながら英語力も向上できる恵まれた環境のもと、これからも教養を深め、語学力を磨いていきたいと思っています。

明治大学政治経済学部がわかる9つのポイント

学科・科目

学科を超えて学ぶ



3学科4コース+
科目パッケージ

政治学科

人間社会の総合科学



政治社会への
多角的アプローチ

経済学科

人々の暮らしを考える



日常生活に直結する
経済学

政策学科

社会課題解決の
プロフェッショナルを目指す



「地方」「都市」「国」「世界」など
多様な「地域」が学びの舞台

GCDプログラム

学年で約50名を選抜



グローバル人材を
育成

留学

豊富な選択肢



学部独自の
留学プログラムが学内最多

ゼミナール

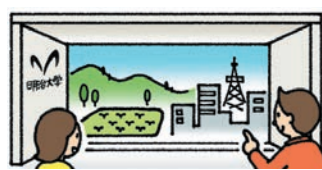
アクティブラーニング



問題解決能力
アップを目指す

地域との連携

現場を知り、実践に活かす



外部講師による
多様な授業

キャリア教育・進路

あなたの進路を後押し



国際キャリア支援や
起業家養成も

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/seikei>



 @meijiexam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?
?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

